

令和 4 年度

農作業事故報告書

令和 5 年 8 月



北海道農作業安全運動推進本部

目 次

は し が き

I 調 査 方 法.....	3
II 農作業事故報告取扱要領.....	3
III 調査結果の概要.....	9
1 総 括.....	9
2 性 別.....	10
3 年 齢.....	11
4 時 期.....	15
5 発生場所.....	17
6 発生時間帯.....	19
7 事故の対象物件等.....	24
8 事故の部位.....	30
9 負傷の内容.....	32
10 負傷の程度.....	34
11 トラクター事故の原因別状況.....	34
12 農業就業人口（2020年農林業センサス）からみた農作業事故.....	37
IV 地区別農作業事故発生状況.....	39
V 市町村別農作業事故発生状況.....	61
VI 参 考 資 料.....	69
1 令和4度農作業事故発生状況（死亡）.....	71
2 令和4年度NHKラジオ放送用原稿（お知らせ版）.....	73

は し が き

北海道農作業安全運動推進本部では、北海道農作業事故報告取扱要領(昭和52年8月3日付け畑作第500号農務部長通達)に基づき、関係機関・団体の協力をいただきながら、令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)農作業事故調査結果を取りまとめました。

道内における農作業の負傷事故は、年間約2,200件前後発生し、ほぼ横ばい状況で推移しており、令和4年度は、前年を9件下回る2,136件(前年対比99.6%)となっております。

負傷事故では、牛・馬・豚などの家畜による事故が815件(38.2%)で最も多く、次いで農業機械による事故が555件(26.0%)と、家畜による事故が、農業機械による事故を大幅に上回って推移しています。

また、令和4年度の死亡事故は、令和3年度と比べて大幅に減少しており、7件減の9件となっております。

死亡事故については9件中8件(88.9%)が農業機械によるものです。

田植機やコンバイン、ショベルローダ、フォークリフトなどによる転倒・転落、巻き込まれ、挟まれによる死亡事故が多く発生しました。

このような状況を踏まえ、確実な運転操作や安全キャブ・フレームの装着、シートベルト・ヘルメットの着用に努めるなどの安全対策を推進するとともに、改めて注意喚起の徹底が必要となっております。

また、被害に遭われた方の年齢層は、農業の高齢化が影響して、全体の5件(55.6%)が60歳以上の高齢者です。

その内、70歳以上の高齢者が4件を占めており、機械の改良、作業方法の見直しや作業環境の改善など、高齢者の方々の事故低減に向けた取り組みが急がれます。

当本部は、これまで道をはじめ市町村・JA、各地区推進本部と連携し、農作業事故ゼロ運動の推進と事故防止に積極的に取り組んでおりますが、農作業事故を減少させ、事故ゼロを目指していくためには、農業者自身の安全意識の自己啓発や機械利用技術の向上、健康管理等が不可欠です。その上で、家族や地域が一体となって農作業安全運動に取り組んでいくことも極めて重要です。

また、当本部では、平成18年度から道路走行中のトラクター等の追突事故を防止するため、交通ルールと運転マナーを遵守し、低速車マークや反射板の装着を推進する他、農業労災保険と傷害共済・自動車共済等任意保険への加入を働きかける農作業安全『M、M、H』運動を進めてきました。今後も引き続き、『M、M、H』運動を推進し、トラクター等の交通事故防止に努めることとしています。

農作業事故ゼロに向けては、今後とも、関係機関が一丸となって更なる努力をしていくことが大切なことは言うまでもありません。

この報告書が、農作業事故防止のために有効に活用され、快適で安全・安心な農作業が行われる一助となることを願っています。

令和5年8月

北海道農作業安全運動推進本部
本部長 柴田倫宏

I	調査方法.....	3
II	農作業事故報告取扱要領.....	3
III	調査結果の概要.....	9

I 調査方法

当本部が実施している調査は、北海道の「農作業事故報告取扱要領」により次の通り行っています。

- ① 市町村→総合振興局・振興局→農政部への報告書のうち（別記第1号様式）を調査票としています。
- ② 本部が関係団体の協力を得て、農作業事故関係分を選別して調査票（別記第1号様式）を記入作成しています。
- ③ ①と②は克明につき合せを行い、重複しているものは片方をカットしています。

以上が事故調査の個票の基本となっていますが、問題点として次のような事項が残されていることについて了知願います。

- 1 事故が軽微で届出がない場合はこの統計にのらない。
- 2 農業協同組合共済に未加入の場合で、市町村の事故掌握からも洩れた場合は、この統計にのらない。
- 3 農業協同組合共済の事故票は、農作業事故の実態把握を目的としたものではないため詳細な事故原因、分析等が困難な場合、調査者の判断で判定する要素がある。更に地域別の事故捕捉率や事故発生頻度と安全運動の成果等について必ずしも明確でない面もある。

以上が事故報告にあたっての調査方法と、その制約的事項ですが、本書の利用にあたってはこれらの点について配慮願います。

II 農作業事故報告取扱要領

昭和 52 年 8 月 3 日
畑作第 500 号農務部長通達
昭和 61 年 8 月 20 日一部改正
昭和 63 年 5 月 20 日一部改正
平成 元年 5 月 17 日一部改正
平成 18 年 6 月 1 日一部改正
平成 20 年 3 月 4 日一部改正
平成 22 年 7 月 27 日一部改正
平成 24 年 3 月 28 日一部改正

1 目的

最近における農業技術の進歩や農業機械の多様化、高度化に伴って、農業機械等による事故が多発し、その内容も複雑化、重度化しているため、実態を迅速かつ的確に把握し、今後の農作業事故防止対策の基礎資料とする。

2 報告の種類

事故発生状況の報告は、次の2種類とする。

- (1) 死亡事故報告
- (2) 負傷事故報告

3 農作業事故の定義

本調査で農作業事故とは、すべての農作業中に発生した事故及び農作業中でない場合であっても農業機械によって負傷または死亡した事故(以下「農作業事故」という。)とする。

4 調査の対象

- (1) 死亡
農作業事故による傷害の結果、生命を失った者。
- (2) 負傷
農作業事故による負傷の結果、入院もしくは通院を伴う治療を受けた者。

5 報告要領

事故の報告については、次の手順に従い報告するものとする。

- (1) 死亡事故報告
市町村は、当該事故が発生したときは、農業協同組合等の協力を得て速やかに事故状況を把握し、別記第1号様式により、発生の都度、総合振興局・振興局に報告し、総合振興局・振興局は農政部に報告するものとする。なお、市町村においては、定期的に戸籍の死亡届の閲覧確認を行うなど、報告もれがないよう配慮すること。
- (2) 負傷事故報告
市町村は、当該事故の発生状況を、農業協同組合等の協力を得て的確に把握し、下表に定める期間ごとに、別記第1号様式に別記第2号様式を添付して、総合振興局・振興局に報告し、総合振興局・振興局は市町村の事故報告を取りまとめ農政部に報告するものとする。

なお、市町村においては、農業協同組合共済関係部署に確認するなど、報告もれがないよう配慮すること。

報告期間及び報告期限は下表のとおり。

報告期間	市町村から総合振興局・振興局に報告する期限	総合振興局・振興局から農政部に報告する期限
4月～9月	10月10日	10月15日
10月～3月	4月10日	4月15日

調査報告上の留意事項

1 報告対象

- (1) 農作業中に発生した事故は、調査対象者を農業従事者（農業常雇及び農業臨時雇を含む）とし、例えば次に類するような事故とする。
 - ア 農作業中における農業機械による事故
 - イ 農作業中における牛、馬等による事故
 - ウ 農作業中における農薬、有害ガス等による中毒事故
 - エ 乾燥作業中における火傷事故

（注）農作業とは、農業生産活動に伴う一切の作業で、生産資材の調達や運搬、農業機械等の修理、整備、市場までの出荷に伴う作業（ライスセンター、カントリーエレベーターの調整や選果場での選果等）等を含む。
- (2) 農作業以外で農業機械による事故は、全ての人を対象とし、例えば次に類するような事故とする。
 - ア 農業機械による事故で小児の事故も含む
 - イ トラクター等での除雪作業等の事故

2 報告対象外

- (1) 農薬の誤飲による事故
- (2) 乗用車等による人夫等の送り迎え中の交通事故
- (3) 圃場整備等ブルドーザーによる土木工事中による事故
- (4) 山林の草刈り作業中の事故
- (5) 農業以外で農業機械を使用せずに用水、溜池等に転落した事故
- (6) その他(1)～(5)に類するような事故

(別記第1号様式)

(表 面)
農 作 業 事 故 調 査 票

総合振興局・振興局		番号		生年月日	M T S H	年	月	日	* 調査No					
市 町 村 名									* コード					
農業協同組合名									* コード					
性 別	1男		2女											
年 齢									満					
発 生 日	平成		年		月		日							
発 生 時 刻	時		分		頃		(注：24時間法) 不明は9999							
取 得 免 許	1原付 2自動二輪 3普通 4大型一種 5小型特殊 6大型特殊 7牽引 8無 9不明													
事 故 発 生 現 場	01水田 02畑 03牧草地 04農道 05公道 06道路取付口 07自宅 08敷地内 09山林 10畜舎 11サイロ 12乾燥収納舎 13納屋 14農業機械格納庫 15ハウス 16用水路 17堆肥場 18不明 19その他 ()													
傷 害 名 称 (診 断 名)	01切断 02裂傷 03切傷 04骨折 05打撲 06挫傷 07挫創 08失明 09捻挫 10アキレス腱切断 11麻痺 12流産 13火傷 14目角膜傷 15脱臼 16刺傷 17手指切断 18足指切断 19筋切断 20不明 21その他 ()													
死 亡 負 傷	1死亡 2負傷													
	負傷の場合	入院日数	(日数不明の場合は999) ※通院の場合は〇〇〇と表記する											
		通院日数	()											
事 故 部 位	01頭(顔) 02目 03耳 04首 05左腕 06左手 07右腕 08右手 09手指 10左足 11右足 12足指 13肩 14胸 15腹 16腰 17背 18臀(尻) 19肋骨 20全身 21不明 22その他 ()													
事 故 対 象 物 件	ト ラ ク タ	01トラクタ 銘柄 () 型式 () 年式 () PS ()												
	動 力	02電動機(モータ) 03発動機(エンジン) 08耕うん機 09テラ 64農用ブルドーザ												
	耕 う ん 地	04プラウ 05サブソイラ・心土破砕機 06ディスクハロ(パワーディスク) 07ロータリ 19代かき機 23鎮圧機(ローラ) 24均平機(スプリングハロ)												
	施 肥・播 種	10コンplanter 11ビーンplanter 12ビートplanter 13ポテトplanter 14ドリル 15マニアスプレッタ 16スラリスプレッタ(尿散布機) 17ブロードカスター 18ライムソーワ 20田植機 21ビート移植機 22玉ネギ移植機												
	管 理・防 除	25カルチベータ 26培土機 27スプレーヤ 28動力噴霧器 29動力散粉機 30人力(背負)防除機 72刈払機												
	収 穫	稲 作	31バインダ 32自脱型コンバイン											
		畑 作	33普通型コンバイン 34ビーンハーベスタ 35ビートハーベスタ(ビートタッパ) 36ポテトハーベスタ(ポテトディガ) 37玉ネギハーベスタ 66スイートコーンハーベスタ 75野菜堀取機											
		飼 料 作	38レンプロ型モア 39ディスクモア 40モアコンディショナ 41ロータリ型レーキ・テッダ 42その他のレーキテッダ 43グラスチョッパー 44コンパクトペーラ 45ロールペーラ 47コーンハーベスタ 48フォーレージハーベスタ											
	運 搬・処 理	46ペールローダ 49ヘーエレベータ 50フォーレージプロア 51吹上カッタ 52ダンブトラック(トラックは62) 53トレーラ 54ダンブトレーラ 55ロードワゴン 56ピックアップワゴン 57ショベルローダ 58フォークリフト 58一輪車 59二輪車 60フロントローダ 61バックレーキ 62トラック 63ローリー類 68サイレージ用ディストリビュータ 69サイレージ用アンローダ												
	調 製	65スレッシュヤ 67脱穀機(自脱) 70もみすり機 71乾燥機 76野菜洗浄機 77米ほか選別機												
	そ の 他 機 械	73自動穴堀機 74溝堀機(トレンチャ) 78除雪機 79チェーンソー 80その他 ()												
	家 畜・農 業	81牛 82馬 83豚 87農業中毒(種類：殺虫・殺菌・除草) 88農業不明												
	小 農 具	89鎌 90鋏 91小農具その他 () 92小農具不明												
そ の 他	84高所転落(機械名・施設名 高さ m) 85人の転倒 86蜂 93その他 () 94不明													
労 災 加 入 状 況	01特定農業従事者 02中小事業主等 03指定農業機械作業従事者 09無 10不明													
農 協 共 済 加 入 状 況	1加入有 2加入無 3不明													
事 故 対 策 研 修 会 参 加 状 況	1有 2無 3不明													
安 全 フ レーム 装 着 状 況	1二柱式 2四柱式 3安全キャビン 4無 5不明													
ト ラ ク タ に よ る 事 故 の 原 因 別 状 況	転倒・転落	衣類がからむ	物を落とす・挟む	機械より落下	人の転倒	整備中	その他							
	11田 12畑 13牧草地 14道路・農道	21PTO部 22作業装置 23その他	31整備着脱 32動力伝達部 33その他	41乗降時 43作業中	51作業中 52整備中	61油圧関係 62機械関係 63工具関係	70同乗同業者 80交通事故 91作業機独自 92その他							
				記載者	(所属)	(氏名)								

* 印は記載不要

(裏 面)

機械に関する情報	機 械 の 種 類		メーカ一名	
	製 品 名 ・ 型 式 名		製 造 年	
	検 査 ・ 鑑 定 の 有 無	型式検査合格機 安全鑑定適合機 該当なし 不明		
	整 備 ・ 点 検 実 績			

発 生 原 因 ・ 状 況 等	

事故状況図 (詳細)



※ 事故の発生状況を記載すること。

(別記第2号様式)

農 作 業 事 故 発 生 状 況 (負 傷)

(総合振興局・振興局名)

平成 年 月 ~ 月

市 町 村 名	農 協 名	事 故 者			発 生		発 生 場 所	農 作 業 名	使 用 機 械 施 設 名	取 得 免 許 の 種 類	傷 害 部 位	傷 害 程 度 入 院 ・ 通 院 の 別	農 業 機 械 研 修 受 講 の 有 無	労 災 保 険 共 済 等 加 入 の 有 無	この期間中に市町村 (総合振興局・振興 局)が行った安全対策 の指導内容	
		番 号	年 齢	性 別	月 日	時 刻										

※事故者の番号は、市町村毎に連番とする。

Ⅲ 調査結果の概要

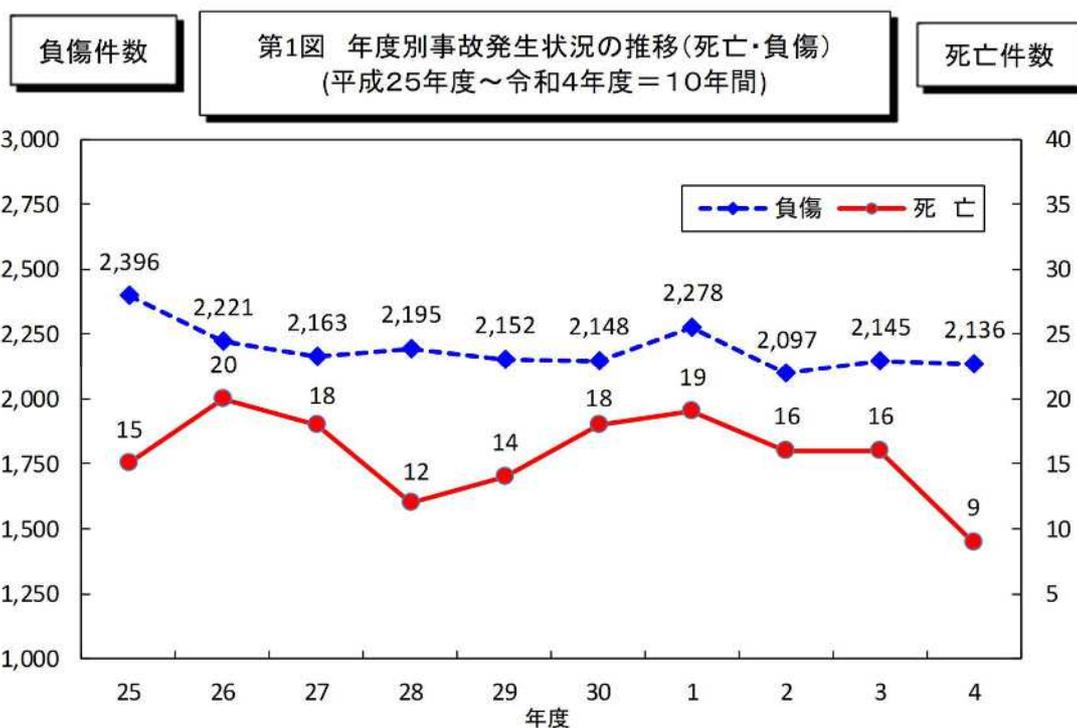
1 総括

死亡、負傷とも前年を下回る

- (1) 事故件数は全体で減少（前年比 99.3%）
令和4年度は、死亡、負傷合せて2,145件で、前年度より16件減少した。
- (2) 死亡件数は減少（前年比 56.3%）
死亡は9件で、前年度より7件減少。
- (3) 負傷件数は減少（前年比 99.6%）
負傷は2,136件で、前年度の2,145件より9件減少した。

第1表 年度別事故発生状況（過去10年間）

年度	死 亡			負 傷			合 計	対前年比 %
	男	女	計	男	女	計		
24	18	2	20	1,770	889	2,659	2,679	—
25	12	3	15	1,635	761	2,396	2,411	90.0%
26	16	4	20	1,490	731	2,221	2,241	92.9%
27	14	4	18	1,409	754	2,163	2,181	97.3%
28	11	1	12	1,459	736	2,195	2,207	101.2%
29	13	1	14	1,488	664	2,152	2,166	98.1%
30	15	3	18	1,441	707	2,148	2,166	100.0%
1	17	2	19	1,548	730	2,278	2,297	106.0%
2	10	6	16	1,409	688	2,097	2,113	92.0%
3	14	2	16	1,469	676	2,145	2,161	102.3%
4	9		9	1,428	708	2,136	2,145	99.3%
計	131	26	157	14,776	7,155	21,931	22,088	—



2 性別

男性 67.5%、女性 32.5%の事故割合(10年間)

(1) 農業就業者の 45.0%が女性

農林水産省「2020年農林業センサス」(令和2.2.1)によると、本道の農業就業人口は、80,552人となっている。

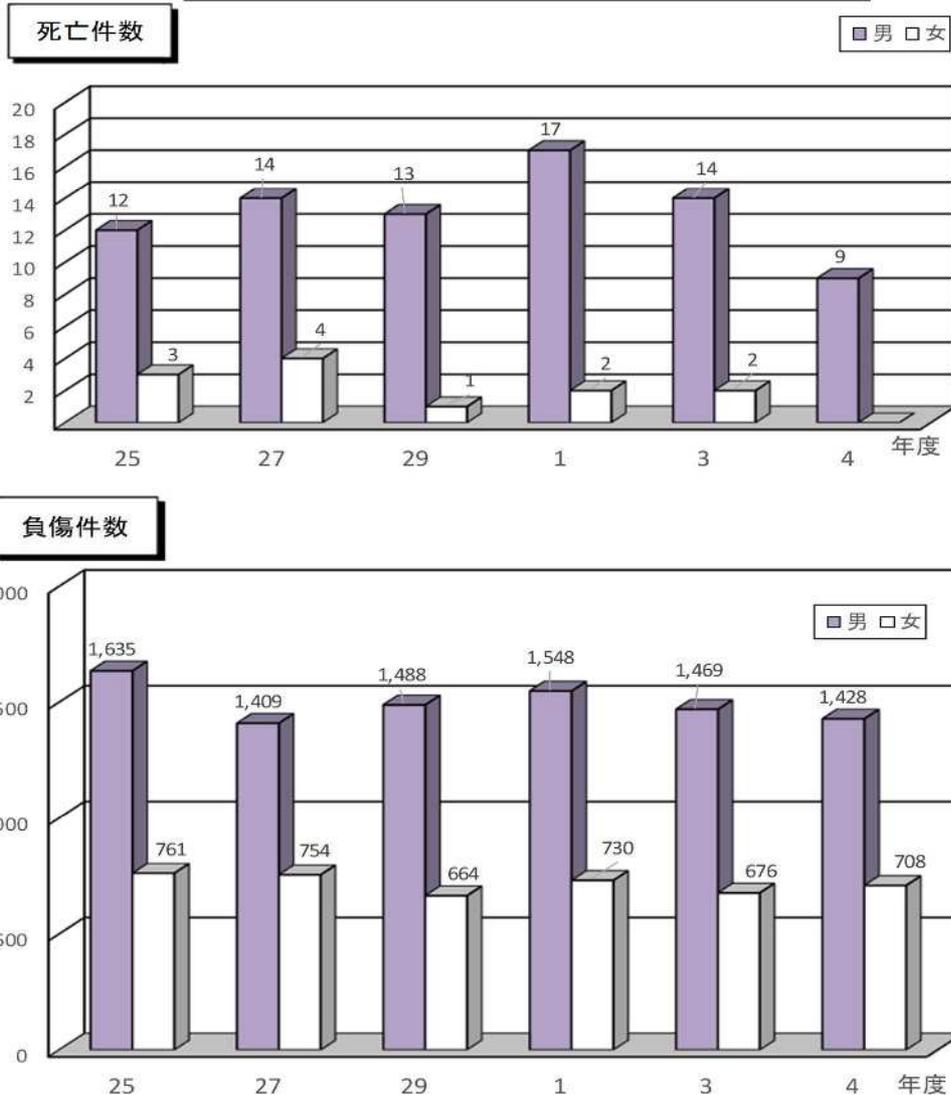
そのうち男女別では、男性が44,321人(55.0%)、女性が36,231人(45.0%)となっている。

(2) 男・女の事故の割合は男性が67.0%、女性が33.0%

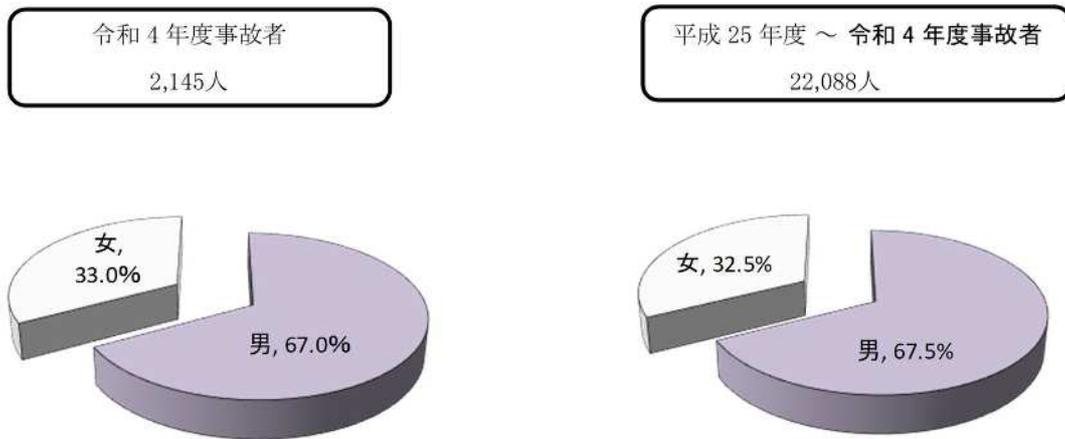
令和4年度の男女別の事故発生件数は、男性が1,437件、女性が708件となっている。

男性が前年度の1,483件より46件減少している。また、女性は前年度の678件より30件増加している。

第2図 男女別、年度別農作業事故者の推移
(平成25年度～令和4年度=10年間)



第3図 農作業事故者の男女の割合



3 年 齢

高齢者（60歳以上）の死亡73.9%、負傷37.1%（10年間）

(1) 農業就業人口、60歳以上トップ

農林水産省（北海道）「農林業センサス」による農業就業者の年齢別構成割合の5年間の推移をみると、平成27年の就業者は96,557人で、そのうち60歳以上は48,374人（50.1%）、30歳未満は6,289人（6.5%）となっている。

令和2年センサスでは80,552人で、そのうち60歳以上は42,009人（52.2%）、30歳未満は4,269人（5.3%）となっている。

(2) 死亡、60歳以上トップ

第2表のとおり、過去10年間の死亡157件のうち、60歳以上116件（73.9%）で最も多く、次いで50歳代19件（12.1%）、40歳代が9件（5.7%）、30歳代が7件（4.5%）の順となっている。

令和4年度では、死亡9件のうち、60歳以上が5件で55.6%を占め、その内70歳以上が4件（80.0%）となっている。

(3) 負傷、60歳以上トップ

第3表のとおり、過去10年間の負傷21,931件のうち、60歳以上8,143件（37.1%）で最も多く、次いで50歳代4,306件（19.6%）となっている。

令和4年度では、負傷2,136件のうち、60歳以上が807件（37.8%）で最も多く、次いで30歳代357件（16.7%）の順となっている。

第3表付①のとおり、年代別負傷者の構成比率の推移をみると、60歳以上が毎年トップとなっている。

(4) 女性の負傷事故の状況

第3表のとおり、過去10年間の負傷7,155件のうち、60歳以上2,700件（37.7%）で最も多く、次いで50歳代1,731件（24.2%）となっている。

令和4年度では、負傷708件のうち、60歳以上が276件（39.0%）で最も多く、次いで50歳代143件（20.2%）の順となっている。

第3表付②の年代別負傷事故に占める女性の割合は、過去10年間のトータルでは、10歳未満、50歳代、10歳代、60歳代の順となっている。

第2表 年齢別、性別事故発生状況（死亡）

区分 年代	25			26			27			28		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満												
10歳代				1		1						
20歳代	1		1									
30歳代	1		1		1	1	2		2			
40歳代	1	1	2		1	1						
50歳代	1		1	3		3	3		3	1		1
60歳以上	8	2	10	12	2	14	9	4	13	10	1	11
計	12	3	15	16	4	20	14	4	18	11	1	12

区分 年代	29			30			1			2		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満										1		1
10歳代												
20歳代										1		1
30歳代				2		2						
40歳代	2		2	1		1				1		1
50歳代	2		2	4		4	2		2		1	1
60歳以上	9	1	10	8	3	11	15	2	17	7	5	12
計	13	1	14	15	3	18	17	2	19	10	6	16

区分 年代	3			4			計			%
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
10歳未満							1		1	0.6
10歳代							1		1	0.6
20歳代	1		1	1		1	4		4	2.5
30歳代				1		1	6	1	7	4.5
40歳代	2		2				7	2	9	5.7
50歳代				2		2	18	1	19	12.1
60歳以上	11	2	13	5		5	94	22	116	73.9
計	14	2	16	9		9	131	26	157	100.0

第3表 年齢別、性別事故発生状況（負傷）

区分 年代	25			26			27			28		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満	1	1	2		1	1	1		1	1		1
10歳代	14	5	19	11	8	19	13	7	20	10	5	15
20歳代	193	61	254	146	44	190	136	57	193	159	65	224
30歳代	286	87	373	273	69	342	268	75	343	239	92	331
40歳代	227	111	338	225	121	346	223	128	351	251	118	369
50歳代	351	211	562	291	184	475	291	223	514	264	183	447
60歳以上	563	285	848	544	304	848	477	264	741	535	273	808
計	1,635	761	2,396	1,490	731	2,221	1,409	754	2,163	1,459	736	2,195

区分 年代	29			30			1			2		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満		1	1							1		1
10歳代	11	4	15	14	5	19	6	11	17	8	5	13
20歳代	144	54	198	136	73	209	165	85	250	150	72	222
30歳代	286	73	359	233	75	308	294	94	388	260	87	347
40歳代	221	111	332	262	110	372	246	127	373	285	99	384
50歳代	260	189	449	236	153	389	262	158	420	195	148	343
60歳以上	566	232	798	560	291	851	575	255	830	510	277	787
計	1,488	664	2,152	1,441	707	2,148	1,548	730	2,278	1,409	688	2,097

区分 年代	3			4			計			%
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
10歳未満							4	3	7	0.0
10歳代	10	4	14	12	6	18	109	60	169	0.8
20歳代	163	79	242	163	95	258	1,555	685	2,240	10.2
30歳代	249	84	333	267	90	357	2,655	826	3,481	15.9
40歳代	242	127	369	253	98	351	2,435	1,150	3,585	16.3
50歳代	223	139	362	202	143	345	2,575	1,731	4,306	19.6
60歳以上	582	243	825	531	276	807	5,443	2,700	8,143	37.1
計	1,469	676	2,145	1,428	708	2,136	14,776	7,155	21,931	100.0

第3表付① 年代別負傷者の構成比率

単位：%

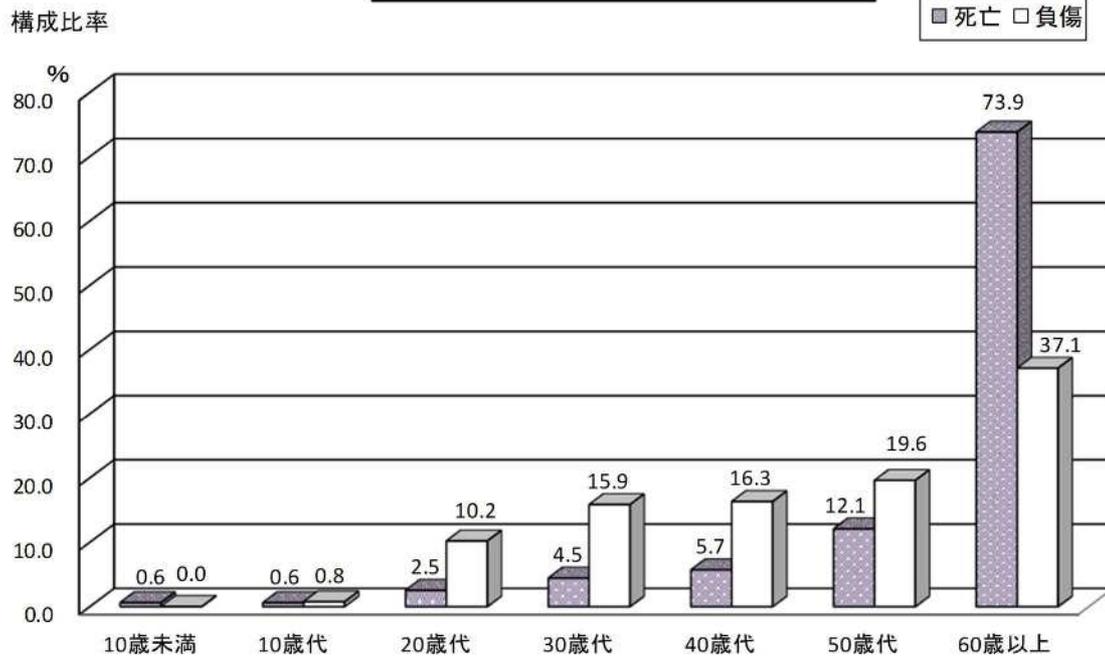
年代 \ 年度	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	10年間計
10歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
10歳代	0.7	0.8	0.9	0.6	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.8	0.7
20歳代	10.6	8.5	8.9	10.2	9.2	9.7	10.9	10.5	11.2	12.0	10.2
30歳代	15.5	15.3	15.8	15.0	16.6	14.3	17.0	16.5	15.5	16.7	15.8
40歳代	14.1	15.5	16.2	16.8	15.4	17.3	16.3	18.3	17.2	16.4	16.3
50歳代	23.4	21.3	23.7	20.3	20.8	18.1	18.4	16.3	16.8	16.1	19.6
60歳以上	35.3	38.1	34.2	36.8	37.0	39.6	36.4	37.5	38.4	37.7	37.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

第3表付② 年代別負傷事故に占める女性の割合

単位：%

年代 \ 年度	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	10年間計
10歳未満	50.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	42.9
10歳代	26.3	42.1	35.0	33.3	26.6	26.3	64.7	38.4	28.5	33.3	35.5
20歳代	24.0	23.1	29.5	29.0	27.2	34.9	34.0	32.4	32.6	36.8	30.6
30歳代	23.3	20.1	21.8	27.7	20.3	24.3	24.2	25.0	25.2	25.2	23.7
40歳代	32.8	34.9	36.4	31.9	33.4	29.5	34.0	25.7	34.4	27.9	32.1
50歳代	37.5	38.7	43.3	40.9	42.0	39.3	37.6	43.1	38.3	41.4	40.2
60歳以上	33.6	35.8	35.6	33.7	29.0	34.1	30.7	35.1	29.4	34.2	33.2
計	31.7	32.9	34.8	33.5	30.8	32.9	32.0	32.8	31.5	33.1	32.6

第4図 年代別事故発生状況の比較
平成25年度～令和4年度＝10年間



4 時 期

死亡、負傷とも春の作業期と秋の収穫期に多発

(1) 死亡は春の作業期から秋の収穫期にかけて多発

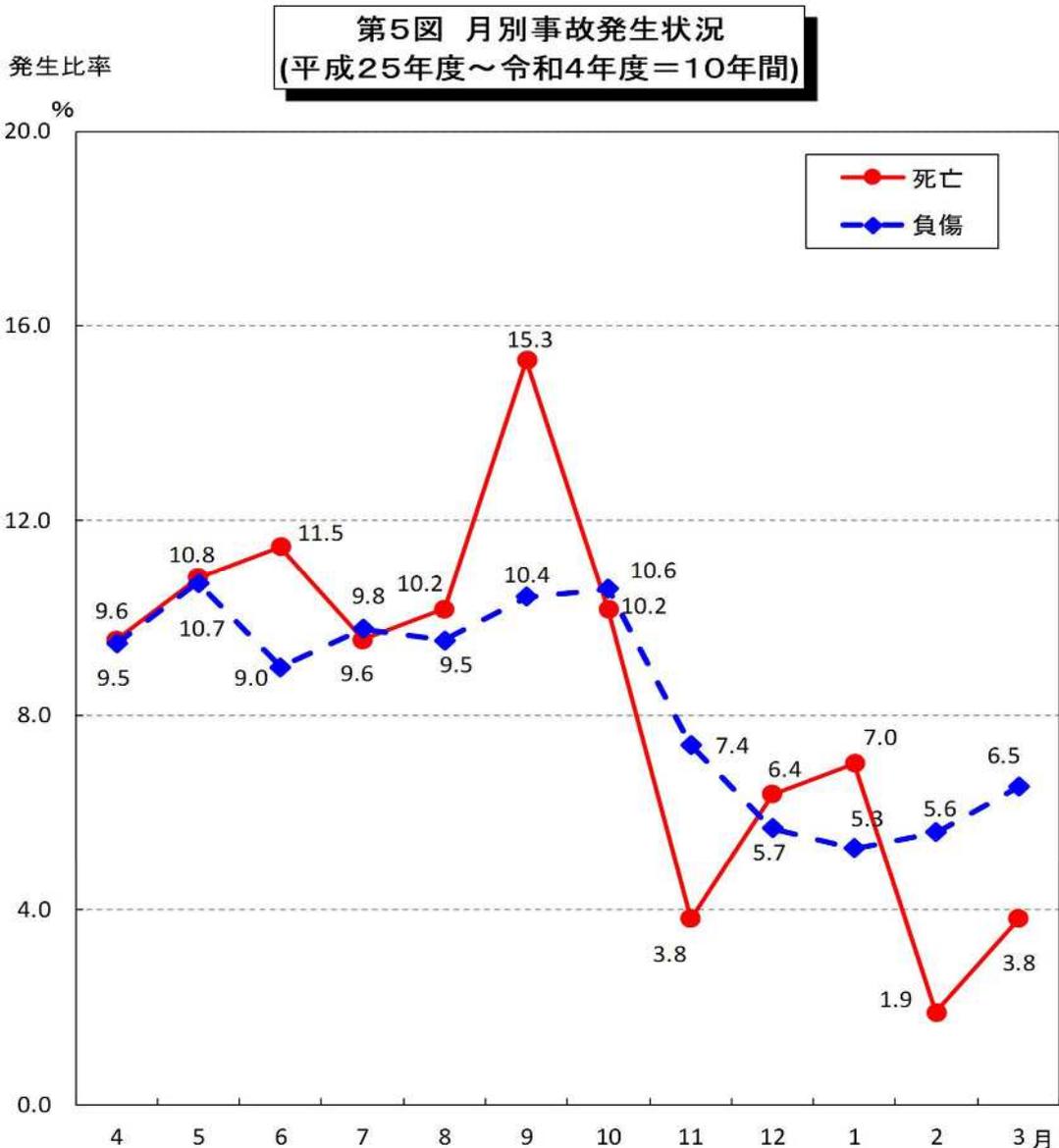
過去10年間のトータルでは、第4表のとおり9月が24件(15.3%)で最も多く、次いで6月18件(11.5%)、5月17件(10.8%)、8月・10月各16件(10.2%)の順となっている。

令和4年度では、9月が3件(33.3%)で最も多く、次いで4月・5月各2件(22.2%)、6月・2月各1件(11.1%)となっている。

(2) 負傷も春の作業期と秋の収穫期に多発

過去10年間のトータルでは、第5表のとおり5月が2,353件(10.7%)で最も多く、10月が2,325件(10.6%)、次いで9月2,288件(10.4%)の順となっている。

令和4年度では、9月が237件(11.1%)で最も多く、次いで8月220件(10.2%)、7月が215件(10.1%)、5月が211件(9.9%)の順となっている。



第4表 月別事故発生状況（死亡）

年度 月	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
4	1	2	2	2	2		2	1	1	2	15	9.6
5	2	3	2		1	1	3	3		2	17	10.8
6	4	3		1	2	2	1	1	3	1	18	11.5
7	3	1	1	2	1	3	1	2	1		15	9.6
8	2	1	4	2		2	2	1	2		16	10.2
9	1	3	1	2	1	5	3	3	2	3	24	15.3
10	1	1	4	1	2		3	4			16	10.2
11		2	2		1		1				6	3.8
12	1	3			1	2	2		1		10	6.4
1		1	1	1	1	2		1	4		11	7.0
2			1		1					1	3	1.9
3				1	1	1	1		2		6	3.8
計	15	20	18	12	14	18	19	16	16	9	157	100.0

第5表 月別事故発生状況（負傷）

年度 月	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
4	250	185	207	202	192	240	212	151	220	218	2,077	9.5
5	301	196	256	249	236	227	249	218	210	211	2,353	10.7
6	245	209	192	187	180	178	215	200	194	173	1,973	9.0
7	237	197	183	229	214	209	223	195	243	215	2,145	9.8
8	210	209	222	199	228	206	199	187	211	220	2,091	9.5
9	254	255	194	217	218	223	237	247	206	237	2,288	10.4
10	243	238	254	264	228	185	234	246	236	197	2,325	10.6
11	182	174	166	151	149	191	174	148	136	151	1,622	7.4
12	117	132	122	122	135	116	127	124	136	112	1,243	5.7
1	106	126	112	118	99	111	124	107	113	138	1,154	5.3
2	111	134	112	120	127	125	127	134	116	121	1,227	5.6
3	140	166	143	137	146	137	157	140	124	143	1,433	6.5
計	2,396	2,221	2,163	2,195	2,152	2,148	2,278	2,097	2,145	2,136	21,931	100.0

5 発生場所

死亡は圃場、敷地内と道路、負傷は畜舎、敷地内と圃場

(1) 死亡は圃場（水田・畑・牧草地）、敷地内と道路（農道・公道・道路取付口）で 66.9%
 過去 10 年間のトータルでは、第 6 表のとおり死亡事故 157 件のうち、水田・畑・牧草地などの圃場が 43 件（27.4%）、敷地内が 40 件（25.5%）、農道・公道・道路取付口などの道路が 22 件（14.0%）、で全体の 66.9%を占めている。

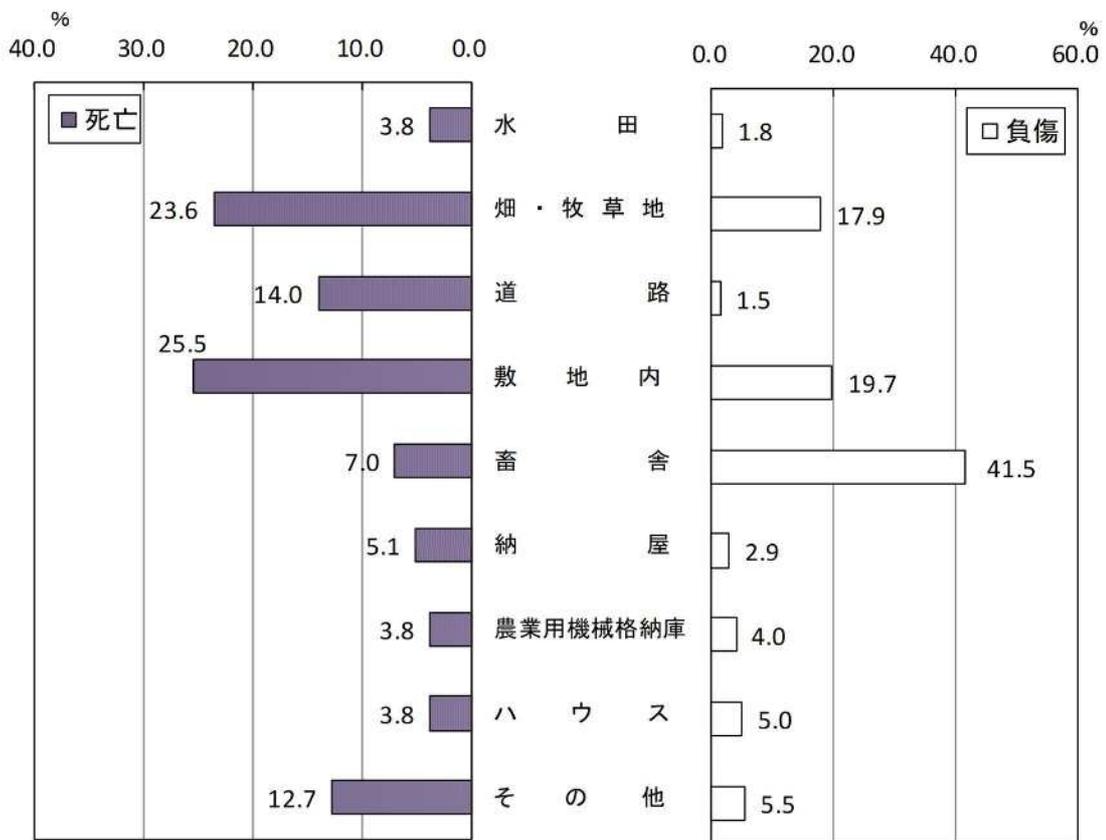
令和 4 年度に発生した死亡事故 9 件の内訳は、圃場（水田・牧草地）が 5 件（55.6%）、敷地内が 4 件（44.4%）となっている。

(2) 負傷は、畜舎、敷地内と圃場（水田・畑・牧草地）で 80.9%

過去 10 年間のトータルでは、第 7 表のとおり負傷事故 21,931 件のうち畜舎が 9,096 件（41.5%）で最も多く、次いで敷地内が 4,328 件（19.7%）、圃場（水田・畑・牧草地）が 4,320 件（19.7%）で全体の 80.9%を占めている。

令和 4 年度では、2,136 件のうち畜舎 908 件（42.5%）で最も多く、次いで敷地内が 432 件（20.2%）、圃場が 422 件（19.8%）となっている。

第6図 場所別事故発生状況の比較
 (平成25年度～令和4年度＝10年間)



第6表 場所別事故発生状況（死亡）

年度		25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
水田		1			2	1				1	1	6	3.8
畑		3	6	3	1	3	6	2	5		4	33	21.0
牧草地			1		1				1	1		4	2.5
農道		1		1	1	1		4				8	5.1
公道		2		3	1	2	1	2	2			13	8.3
道路取付口		1										1	0.6
敷地内		1	6	2	1	1	9	7	3	6	4	40	25.5
山林					1			1		1		3	1.9
畜舎		2	1	1		2	2		2	1		11	7.0
サイロ		1	1					1				3	1.9
牧草収納舎										1		1	0.6
納屋				3	1	2			1	1		8	5.1
農業機械格納庫		1	2	1				1		1		6	3.8
ハウス			1	1	2			1		1		6	3.8
用水路		1	1							1		3	1.9
堆肥場				1		1						2	1.3
不明									1			1	0.6
その他		1	1	2	1	1			1	1		8	5.1
計		15	20	18	12	14	18	19	16	16	9	157	100.0

第7表 場所別事故発生状況（負傷）

年度		25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
水田		63	39	34	30	39	41	42	26	45	37	396	1.8
畑		391	340	359	367	358	327	356	370	349	365	3,582	16.3
牧草地		46	43	35	29	39	43	27	28	32	20	342	1.6
農道		21	20	13	17	15	27	17	26	19	13	188	0.9
公道		16	13	10	21	7	11	20	18	16	13	145	0.7
道路取付口			3	2	1	4	2	2	1	3		18	0.1
敷地内		507	488	404	374	380	397	453	419	474	432	4,328	19.7
山林		1	2	1	2	3	3		2	4	2	20	0.1
畜舎		914	873	917	957	943	915	991	847	831	908	9,096	41.5
サイロ		14	10	10	10	10	9	16	7	6	7	99	0.5
牧草収納舎		18	24	14	12	14	18	16	19	15	14	164	0.7
納屋		106	55	56	60	72	57	47	53	71	64	641	2.9
農業機械格納庫		88	100	100	98	71	87	84	96	88	69	881	4.0
ハウス		123	127	110	113	97	97	108	112	108	109	1,104	5.0
用水路		7	3	1	4	5	2	7	6	8	8	51	0.2
堆肥場		7	7	1	6	7	5	7	3	6	5	54	0.2
不明		4	2	9	7	13	11	2	5	7	5	65	0.3
その他		70	72	87	87	75	96	83	59	63	65	757	3.5
計		2,396	2,221	2,163	2,195	2,152	2,148	2,278	2,097	2,145	2,136	21,931	100.0

6 発生時間帯

危険時間帯は、午後2時～午後4時台と午前8時～午前11時台

(1) 死亡は、午後2時～4時台と午前10時～12時台に多発

10年間のトータルでは、第8-1表のとおり157件のうち10時が20件(12.7%)で最多発生時間となっており、次いで16時が17件(10.8%)、15時が14件(8.9%)、14時が13件(8.3%)、8時と11時が各10件(6.4%)となっている。

令和4年度では、9件のうち8時・16時が各2件(22.2%)で最多発生時間となっており、全体の44.4%を占めている。

第8-1表 時刻別事故発生状況(死亡)

年度 時刻	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	合計	%
0												
1												
2												
3												
4		2									2	1.3
5								1			1	0.6
6	1	1				1	2				5	3.2
7	1	2		1	1		1		1	1	8	5.1
8	2	2	1		1	1			1	2	10	6.4
9	1		1	1	1			1	2		7	4.5
10	3	3	2	1		5	2	1	2	1	20	12.7
11				1	1		4	4			10	6.4
12	1	2				1		1	1		6	3.8
13		1	1		2	2	1	1	1		9	5.7
14	1	1	5	2	3			1			13	8.3
15	1	3	2		1		1	3	2	1	14	8.9
16	2	2	2		2	1	4		2	2	17	10.8
17	1		2		1	1	2				7	4.5
18	1					1	2		1		5	3.2
19				1					1		2	1.3
20			1			1					2	1.3
21		1		1		1					3	1.9
22												
23												
不明			1	4	1	3		3	2	2	16	10.2
合計	15	20	18	12	14	18	19	16	16	9	157	100.0

(2) 負傷は、午前10時～11時台と午後3時～4時台に多発

10年間のトータルでは、第8-2表のとおり10時が2,425件(11.1%)で最多発生時間、次いで11時の2,156件(9.8%)、16時の1,982件(9.0%)、9時の1,793件(8.2%)、15時の1,774件(8.1%)、8時の1,742件(7.9%)となっている。

令和4年度では、10時が222件(10.4%)で最多発生時間、次いで16時が209件(9.8%)、9時が201件(9.4%)、11時が197件(9.2%)となっている。

また、男女別発生状況では、第9表のとおり男女とも10時～11時で最多発生時間、次いで14時～17時、7時～9時の順となっている。

第8-2表 時刻別事故発生状況(負傷)

年度 時刻	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	合計	%
0	9		2	17	1	1			3		33	0.2
1			1		2			3	2	1	9	0.0
2	2		2		1	2	1	1	1		10	0.0
3	1	2	3	2	3	5	3	5	3	5	32	0.1
4	17	12	7	13	21	18	14	17	15	14	148	0.7
5	50	56	46	62	50	44	62	64	56	62	552	2.5
6	130	97	116	137	98	114	117	94	133	107	1,143	5.2
7	148	148	137	148	150	156	164	136	139	131	1,457	6.6
8	165	178	173	155	175	174	179	183	176	184	1,742	7.9
9	174	169	178	167	171	166	172	190	205	201	1,793	8.2
10	299	258	251	209	238	221	270	233	224	222	2,425	11.1
11	263	206	200	195	206	231	239	216	203	197	2,156	9.8
12	64	67	44	63	67	55	49	51	70	51	581	2.6
13	108	115	87	97	83	92	96	81	77	96	932	4.2
14	164	170	175	173	170	156	152	148	161	156	1,625	7.4
15	199	203	163	171	186	169	186	178	153	166	1,774	8.1
16	195	195	206	205	194	180	204	200	194	209	1,982	9.0
17	200	154	160	170	138	155	162	117	138	153	1,547	7.1
18	111	97	116	127	101	115	104	80	110	91	1,052	4.8
19	56	57	57	46	45	45	51	51	42	33	483	2.2
20	27	16	16	23	21	15	11	15	12	17	173	0.8
21	5	4	4	6	10	9	8	5	3	4	58	0.3
22	6	6	7	6	2	4	4	5		5	45	0.2
23	2	2	2	3	3	3	3	2	1	1	22	0.1
不明	1	9	10		16	18	27	22	24	30	157	0.7
合計	2,396	2,221	2,163	2,195	2,152	2,148	2,278	2,097	2,145	2,136	21,931	100.0

第9表 男女別時刻別負傷事故発生状況

年度 時刻	25		26		27		28		29		30	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	8	1			1	1	13	4	1		1	
1					1					2		
2	1	1			1	1			1		1	1
3	1			2	2	1	1	1	2	1	2	3
4	8	9	5	7	5	2	6	7	13	8	10	8
5	24	26	29	27	23	23	34	28	32	18	25	19
6	79	51	60	37	57	59	69	68	53	45	75	39
7	88	60	89	59	84	53	81	67	99	51	101	55
8	123	42	115	63	108	65	110	45	127	48	112	62
9	124	50	116	53	120	58	119	48	114	57	117	49
10	217	82	176	82	178	73	142	67	173	65	164	57
11	198	65	136	70	145	55	143	52	147	59	155	76
12	50	14	48	19	32	12	53	10	53	14	39	16
13	81	27	80	35	65	22	71	26	63	20	71	21
14	125	39	123	47	123	52	134	39	127	43	105	51
15	126	73	149	54	111	52	122	49	127	59	118	51
16	134	61	138	57	137	69	133	72	136	58	117	63
17	126	74	100	54	100	60	102	68	93	45	91	64
18	62	49	66	31	61	55	76	51	59	42	77	38
19	29	27	34	23	33	24	27	19	30	15	27	18
20	21	6	11	5	9	7	14	9	18	3	9	6
21	4	1	2	2	3	1	1	5	6	4	8	1
22	5	1	5	1	2	5	5	1	1	1	3	1
23	1	1	1	1	2		3		3		2	1
不明		1	7	2	6	4			10	6	11	7
合計	1,635	761	1,490	731	1,409	754	1,459	736	1,488	664	1,441	707

年度 時刻	1		2		3		4		合計			
	男		男	女	男	女	男	女	男	%	女	%
0					3				27	0.2	6	0.1
1			2	1	1	1	1		5	0.0	4	0.1
2	1			1		1			5	0.0	5	0.1
3	1	2	3	2	1	2	5		18	0.1	14	0.2
4	8	6	9	8	7	8	7	7	78	0.5	70	1.0
5	33	29	39	25	30	26	40	22	309	2.1	243	3.4
6	67	50	62	32	82	51	66	41	670	4.5	473	6.6
7	110	54	83	53	87	52	84	47	906	6.1	551	7.7
8	106	73	117	66	117	59	118	66	1,153	7.8	589	8.2
9	127	45	140	50	153	52	142	59	1,272	8.6	521	7.3
10	201	69	155	78	158	66	146	76	1,710	11.6	715	10.0
11	179	60	152	64	140	63	138	59	1,533	10.4	623	8.7
12	32	17	39	12	60	10	39	12	445	3.0	136	1.9
13	72	24	56	25	54	23	71	25	684	4.6	248	3.5
14	101	51	108	40	113	48	112	44	1,171	7.9	454	6.3
15	136	50	128	50	116	37	117	49	1,250	8.5	524	7.3
16	142	62	134	66	129	65	140	69	1,340	9.1	642	9.0
17	101	61	74	43	92	46	90	63	969	6.6	578	8.1
18	62	42	44	36	68	42	60	31	635	4.3	417	5.8
19	33	18	31	20	28	14	20	13	292	2.0	191	2.7
20	7	4	11	4	9	3	9	8	118	0.8	55	0.8
21	5	3	3	2	2	1	2	2	36	0.2	22	0.3
22	1	3	3	2			3	2	28	0.2	17	0.2
23	3		2		1		1		19	0.1	3	0.0
不明	20	7	14	8	18	6	17	13	103	0.7	54	0.8
合計	1,548	730	1,409	688	1,469	676	1,428	708	14,776	100.0	7,155	100.0

第 10-1 表 令和 4 年度月別・時刻別事故発生状況（死亡）

時刻	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0														
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7	1													
8			1								1			
9														
10											1			
11														
12														
13														
14														
15	1													
16			1								1			
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
不明					1									
計	2		2		1						3			
合計	2		2		1						3			

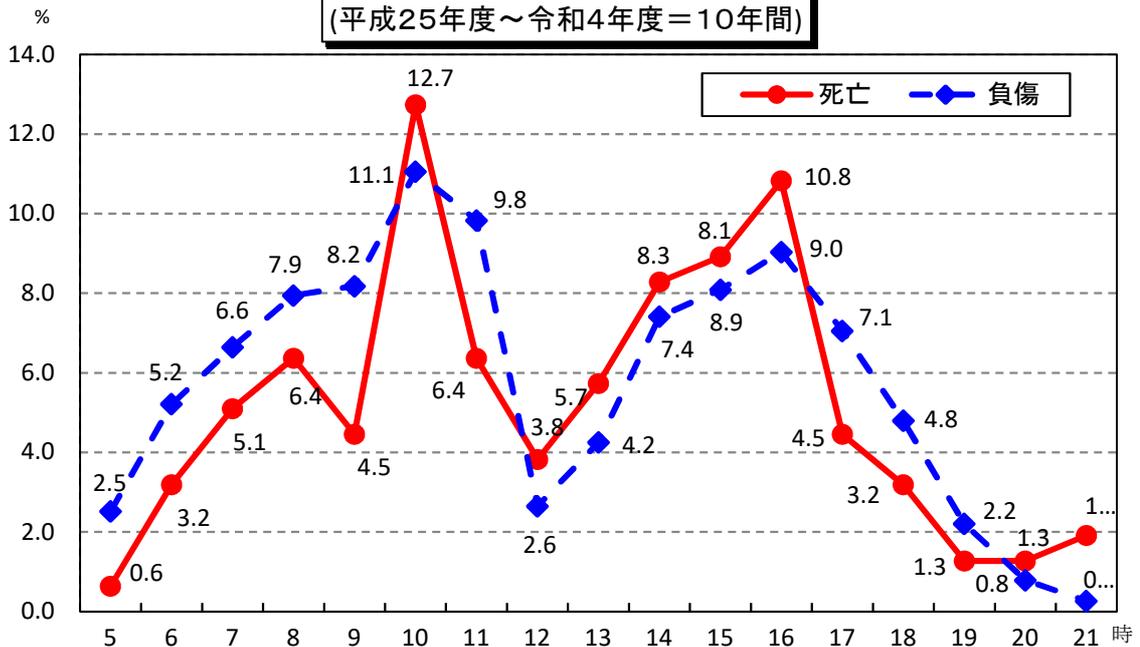
時刻	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		計		合計	比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
0														
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7											1		1	11.1
8											2		2	22.2
9														
10											1		1	11.1
11														
12														
13														
14														
15											1		1	11.1
16											2		2	22.2
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
不明							1				2		2	22.2
計							1				9		9	100.0
合計							1				9		9	100.0

第 10-2 令和 4 年度月別・時刻別事故発生状況（負傷）

時刻	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0														
1														
2														
3														
4							1	1	1	2	1	2	2	
5	5	1	10	2		3	1	3	4	2	3	3	6	1
6	9	3	10	6	11	6	6	3	3	4	4	3	8	2
7	6		11	4	6	3	5	5	8	2	14	7	6	5
8	11	8	14	5	9	6	16	10	10	7	10	5	11	5
9	15	10	9	7	8	5	17	2	15	6	16	8	15	8
10	14	9	15	8	10	3	18	5	16	11	12	8	13	7
11	15	3	13	3	10	6	15	7	14	3	15	4	11	6
12	5	1	4		3	1	8	1	3	1	5		2	1
13	3	2	13	1	8	4	7	2	8	4	11	4	7	3
14	10	7	10	5	10	7	10	6	15	7	8	4	11	2
15	11	4	12	2	11	1	8	3	13	4	15	9	9	6
16	16	9	8	9	13	5	18	7	15	8	16	12	14	6
17	10	7	9	6	7	4	12	8	7	6	10	14	9	2
18	10	4	3	3	3		4		6	9	7	1	6	2
19	3	2	2	2		2	1		1	1	2	1	3	1
20	1	1	1	1	1	2	1	1					1	3
21					1									
22			1				1		1			2		
23					1									
不明	3			2		2	1	1	3			2		3
計	147	71	145	66	112	61	150	65	144	76	148	89	134	63
合計	218		211		173		215		220		237		197	

時刻	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		計		合計	比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
0													1	0.0
1									1		1		1	
2														
3			1		1		1		2		5		5	0.2
4			1		1		2				7	7	14	0.7
5	2	1	1		3	4	2	1	3	1	40	22	62	2.9
6	2	1		2	3	4	5	4	5	3	66	41	107	5.0
7	6	4	3		7	9	5	6	7	2	84	47	131	6.1
8	9	5	6	3	6	4	6	5	10	3	118	66	184	8.6
9	13	1	13	1	8	4	5	3	8	4	142	59	201	9.4
10	16	11	9	4	7	4	7	4	9	2	146	76	222	10.4
11	14	6	7	4	6	4	4	7	14	6	138	59	197	9.2
12	3	1	1		2	3	1	2	2	1	39	12	51	2.4
13	1	4	4		3		3		3	1	71	25	96	4.5
14	9	5	10	1	5		5		9		112	44	156	7.3
15	8	1	7	5	9	3	7	4	7	7	117	49	166	7.8
16	11		5	2	9	5	7	1	8	5	140	69	209	9.8
17	5	2	4	3	6	4	6	2	5	5	90	63	153	7.2
18	3	2	3	2	6	5	4	2	5	1	60	31	91	4.3
19	2		1	3	2		3	1			20	13	33	1.5
20	1						1		2		9	8	17	0.8
21		1	1	1							2	2	4	0.2
22											3	2	5	0.2
23											1		1	0.0
不明	1		4			1	4	1	1	1	17	13	30	1.4
計	106	45	81	31	84	54	76	45	101	42	1,428	708	2,136	100.0
合計	151		112		138		121		143		2,136		2,136	100.0

第7図 時刻別事故発生状況の比較
(平成25年度～令和4年度＝10年間)



7 事故の対象物件等

死亡は農業機械、負傷は家畜が最多

(1) 死亡事故の75.2%は農業機械による事故

10年間のトータルは第8図、年次別の実数は第11表のとおりである。

死亡事故では、157件のうち農業機械によるものが118件(75.2%)で最も多く、次いで高所転落18件(11.5%)、家畜5件(3.2%)、蜂1件(0.6%)となっている。

農業機械別では、死亡事故118件のうちトラクターによるものが45件(38.1%)で最も多く、次いでショベルローダ類21件(17.8%)、トラック類(トレーラー等含む)13件(11.0%)、耕うん機(ロータリー含む)・コンバイン各4件(3.4%)の順となっている。

令和4年度は、死亡事故9件のうちショベルローダ類2件(22.2%)で最も多く、次いで田植機、コンバイン、ロールベラー、トレンチャー、除雪機が各1件(11.1%)となっている。

農作業事故者数に占める死亡者数は、26頁のとおりで過去10年間では141人に1人、令和4年度でも238人に1人の割合で発生している。

(2) 負傷事故の37.3%は家畜(牛・馬・豚)による事故

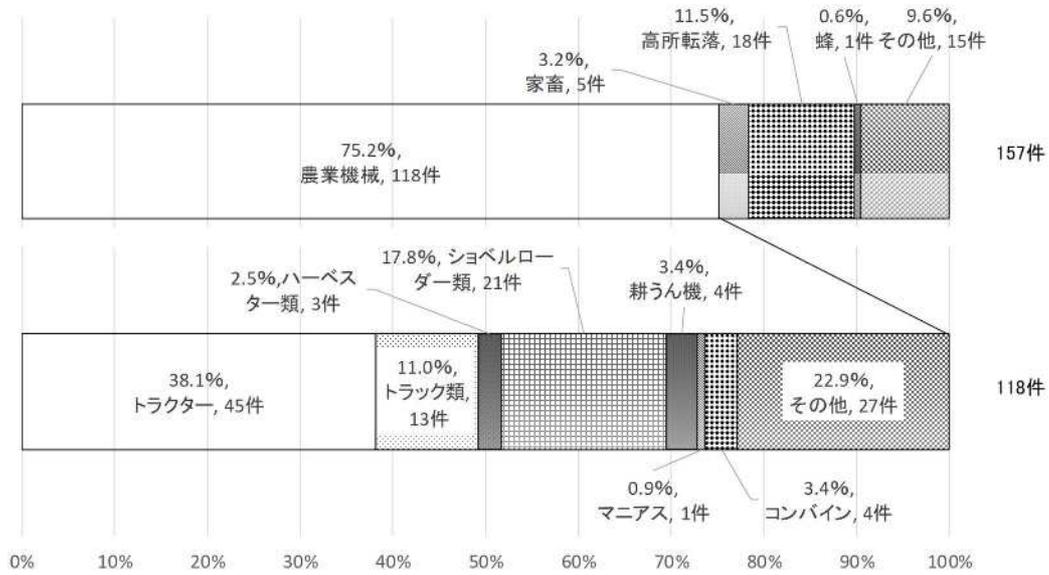
10年間のトータルは第9図、年次別の実数は第11表のとおりである。

負傷事故では、21,931件のうち家畜(牛・馬・豚)によるものが8,175件(37.3%)で最も多く、次いで農業機械が6,480件(29.6%)、人の転倒が2,084件(9.5%)、高所転落が1,339件(6.1%)の順となっている。

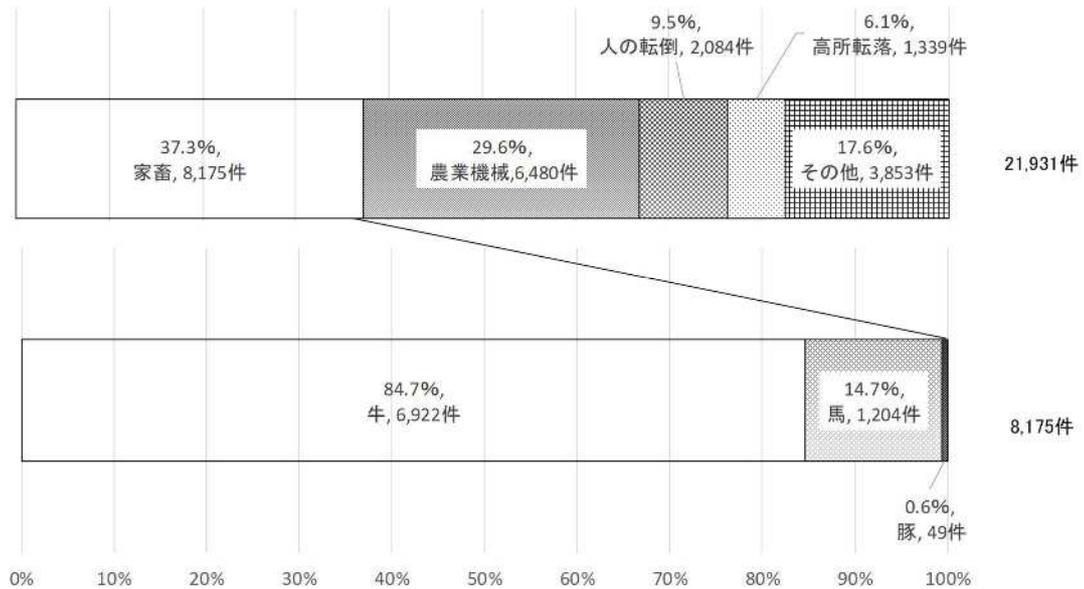
家畜別では、負傷事故8,175件のうち牛によるものが6,922件(84.7%)で最も多く、次いで馬が1,204件(14.7%)、豚が49件(0.6%)の順となっている。

令和4年度は、負傷事故2,136件のうち家畜(牛・馬・豚)によるものが815件(38.2%)で最も多く、次いで農業機械が555件(26.0%)、人の転倒が209件(9.8%)、高所転落が135件(6.3%)の順となっている。

第8図 原因別事故構成比率（死亡）
（平成25年度～令和4年度＝10年間）



第9図 原因別事故構成比率（負傷）
（平成25年度～令和4年度＝10年間）



(3) 原因別事故件数の推移

過去 10 年間の原因別事故件数は、家畜の事故が農業機械の事故を大幅に上回って推移している。

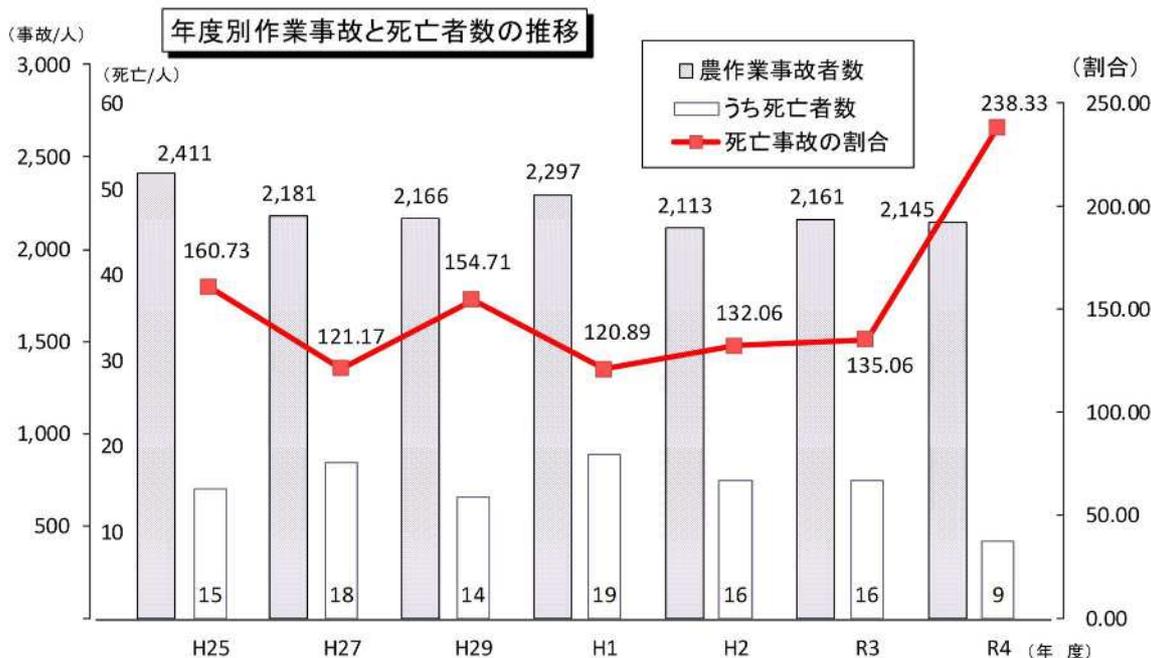
家畜では、牛との接触によるものが最も多く、家畜に踏まれる、蹴られる、挟まれる、突かれるなどにより毎年 700 件前後 (31.4%) で推移している。

農業機械では、トラクターの操作中に事故に遭うケースが多く見受けられ、トラクターの横転転落、機械から物を落とす・物に挟む、機械から落下するなどにより 660 件前後 (29.9%) で推移し、横ばいの傾向を示している。

その他では、人の転倒が 200 件前後 (9.4%) でほぼ横ばいで推移している。また、高所転落も 140 件前後 (6.1%) でほぼ横ばい状態で推移している。

【年度別農作業事故と死亡者数の割合】

年 度	農作業事故者数	うち死亡者数	死亡事故の割合
25	2,411	15	160.73 人につき 1人死亡
26	2,241	20	112.05 "
27	2,181	18	121.17 "
28	2,207	12	183.92 "
29	2,166	14	154.71 "
30	2,166	18	120.33 "
1	2,297	19	120.89 "
2	2,113	16	132.06 "
3	2,161	16	135.06 "
4	2,145	9	238.33 "
計	22,088	157	140.69 "



第 11 表 原因別事故発生状況の推移

作業機	年度		25		26		27		28		29		30		1		2		3		4		計		合計	%
	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷												
トラクター	3	133	4	149	4	127	7	113	4	134	5	99	8	179	6	142	4	105		101	45	1,282	1,327	6.0		
電動機(モーター)		2		2		2		2				3		2		1		2		1			17	17	0.1	
発動機(エンジン)		2		1		1						1		1				1		1			8	8	0.0	
ブラウ		4		3		6		3		4		7		1		7		4		3			42	42	0.2	
サブソイラー・心土破砕機		5		5		5		6		4		4		5				6		3			43	43	0.2	
ディスクハロ(パワーディスク)				1		2		3		1		2				1		6		4			20	20	0.1	
ロータリー		11		19		9		13		7	1	11	1	14		6		14		10	2	114	116	0.5		
耕うん機	1	1		2		4		3		1		5		1	1	3		1		3	2	24	26	0.1		
テラー		4		2		2		5		2		1		1		3		1		2			23	23	0.1	
コーンプランタ						1		2		2		2		2				1		2			12	12	0.1	
ビーンプランタ		2		1		2		2		4		4		4		5		4		2			30	30	0.1	
ビートプランタ		3		3		2				3		5		4		1		4		5			30	30	0.1	
ポテトプランタ		11		9		9		11		12		15		6		7		10		7			97	97	0.4	
ドリル		5		3		5		3		4		2		4		3		4		1			34	34	0.2	
マニアスプレッター		5	1	1		2		3				5		5				3		2	1	26	27	0.1		
スラリスプレッター(尿散布機)				1						2		3											6	6	0.0	
ブロードカスター		6		5		7		4		7		4		2		6		5		2			48	48	0.2	
ライムソワー		2		1										1						2			6	6	0.0	
代かき機		1		3				1															5	5	0.0	
田植機		7		3		3		2		8		4	1	5		2		8	1	13	2	55	57	0.3		
ビート移植機		5		7		14		21		10	1	12		7		7		8		5	1	96	97	0.4		
玉ネギ移植機		1		1						2		2				2		1		2			11	11	0.0	
鎮圧機(ローラ)								1				2		1		3							7	7	0.0	
均平機(スプリングハロー)		1		2		1				1				1		2				2			10	10	0.0	
カルチベータ		5		3		2		3		4		5		7		4		2		3			38	38	0.2	
培土機		2								2										1			5	5	0.0	
スプレーヤー		17		22		16		15		14	2	10		10		11		12		7	2	134	136	0.6		
動力噴霧器		1		6		8		9		5		6		6		4		7		1			53	53	0.2	
動力散粉機		1				2				1						2		3		1			10	10	0.0	
人力(背負)防除機				2		2		1		4		5		5		1		4					24	24	0.1	
バインダー														1						2			3	3	0.0	
自脱型コンバイン		9		7		9		5		8		6		7		5		6		3			65	65	0.3	

作業機	25		26		27		28		29		30		1		2		3		4		計		合計	%
	死亡	負傷																						
普通型コンバイン		13		19	2	14	1	10		20		8		10		11		9	1	10	4	124	128	0.6
ビーンハーベスタ		8		5		5		5		2		1		2		2				1		31	31	0.1
ビートハーベスタ (タツバ)		8	1	9		15		17		10		8		7	1	13		13		4	2	104	106	0.5
ポテトハーベスタ (ディガ)		42		29		43		43		33		28		26		39		36		37		356	356	1.6
玉ネギハーベスタ		10		13		7		17		17		22		11		15		9		23		144	144	0.7
レシプロ型モータ																								
ディスクモータ		2	1	1		5		3				2						1			1	14	15	0.1
モアコンディショナ		4		3	1	2		2		3		7		1		1		2			1	25	26	0.1
ロータリ型 レーキ・テッダ		1		2		1		2		1		1		1		3				1		13	13	0.1
その他の レーキ・テッダ						1		3		2		1				2						9	9	0.0
グラスチョッパー		1				2		1		1		2		2		1		2				12	12	0.1
コンパクトベアラ																								
ロールベアラ	1	14		5		3		8		8		6		5		7		6	1	4	2	66	68	0.3
ベールローダ						1				1								1				3	3	0.0
コーンハーベスタ		2		2		2		2		1		2		1								12	12	0.1
フォーレージ ハーベスタ		2				3						1		1	1	1		2		1	1	11	12	0.1
ヘーエレベーター		1		1																		2	2	0.0
フォーレージ フロアー																								
吹上カッタ																								
ダンプトラック		12		21	1	14		19		15		11	1	14		20		19		10	2	155	157	0.7
トレーラー		5	1	5		5		9		1		3		1		3		8		1	1	41	42	0.2
ダンプトレーラー				2		1		1		2				1		1		1				9	9	0.0
ロードワゴン																				1		1	1	0.0
ピックアップワゴン																								
ショベルローダ・ フォークリフト	1	50	2	63	1	57		41	3	62	2	43	4	59	1	53	5	54	2	41	21	523	544	2.5
一輪車				3		5		2		1				2		3		6		1		23	23	0.1
二輪車		3		2		2		1				1				5		4		2		20	20	0.1
フロントローダー		9		5		2		5		5		3		1		4		4		10		48	48	0.2
バックレーキ		2		1		2		1		1								1				8	8	0.0
トラック	3	59	4	49		53	1	65		57	1	54		58		44	1	57		42	10	538	548	2.5
ローリ類												1										1	1	0.0
農用ブルドーザー								1		1						1				1		4	4	0.0

作業機	年度		25		26		27		28		29		30		1		2		3		4		計		合計	%
	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷																				
スレッシャー		4		4		3		5		1		3		3		3		3		4		4		34	34	0.2
スイートコン ハーベスタ						2				1		1				1					2			7	7	0.0
脱穀機(自脱)		3		1		4		1		1		1		1		1		2		1				15	15	0.1
サイレージ用 ディストリビュータ																		1						1	1	0.0
サイレージ用 アンローダ				2						1		1												4	4	0.0
もみすり機		1		1						1		1					1		4		2			11	11	0.0
乾燥機		10		7		2		5		6		15		6		6		6		9		4		70	70	0.3
刈払機		26		28		13		13	1	20		21		19		17		15			27	1	199	200	0.9	
自動穴掘機				1																	1			2	2	0.0
溝堀機 (トレンチャー)				1													1			1	1	1	1	3	4	0.0
野菜掘取機		9		10		15		12		10		10		13		5		10			9			103	103	0.5
野菜洗浄機				1				4													2			7	7	0.0
米ほか選別機		2		7		7		8		3		7		5		8		7			9			63	63	0.3
除雪機		7		3		3	1	1		3		3	1			9	1	3	1	5	4	37	41	0.2		
チェンソー		18		17		21		19		9		16	1	11		16		19			28	1	174	175	0.8	
その他	1	133		83	3	89		133		88	4	154		109	2	90		116	1	80	11	1,075	1,086	4.9		
農業機械小計	10	707	14	670	12	647	10	690	8	634	16	663	17	652	12	617	11	645	8	555	118	6,480	6,598	29.9		
牛	1	715	1	681		703		744	1	697	1	635		762	1	667		630		688	5	6,922	6,927	31.4		
馬		122		138		112		90		112		129		123		126		129		123				1,204	1,204	5.5
豚		4		5		1		2		7		10		7		5		4		4				49	49	0.2
高所転落	2	178	2	131	2	136	1	132	4	124	1	127	1	127	3	124	1	125	1	135	18	1,339	1,357	6.1		
人の転倒		237		210		182		207		210		212		210		194		213		209				2,084	2,084	9.4
蜂		36		24	1	30		26		30		36		28		42		36		37	1	325	326	1.5		
農薬中毒 (殺虫・殺菌・除草)		2		2				2		1		1		1				2		2				13	13	0.1
農薬不明				2						2		4		3		5		1						17	17	0.1
鎌		23		24		23		18		17		23		28		23		27		18				224	224	1.0
鍬				1		1				1		1				4				2				10	10	0.0
小農具その他		70		60		58		51		62		66		50		56		80		53				606	606	2.7
小農具不明				5		5		7		3		2		3		1		1		6				33	33	0.1
その他	2	293	3	234	3	231	1	201	1	219		202	1	264		222	4	230		240	15	2,336	2,351	10.6		
不明		9		34		34		25		33		37		20		11		22		64				289	289	1.3
その他小計	5	1,689	6	1,551	6	1,516	2	1,505	6	1,518	2	1,485	2	1,626	4	1,480	5	1,500	1	1,581	39	15,451	15,490	70.1		
合計	15	2,396	20	2,221	18	2,163	12	2,195	14	2,152	18	2,148	19	2,278	16	2,097	16	2,145	9	2,136	157	21,931	22,088	100.0		

8 事故の部位

死亡は全身、負傷は手・足（指含む）

(1) 死亡は胸(肋骨)が 22.2%

令和 4 年度の死亡事故 9 件のうち、第 13 表のとおり胸(肋骨)が 2 件 (22.2%)、腰が 1 件 (11.1%) となっている。

(2) 負傷は手・足（指含む）で 50.4%

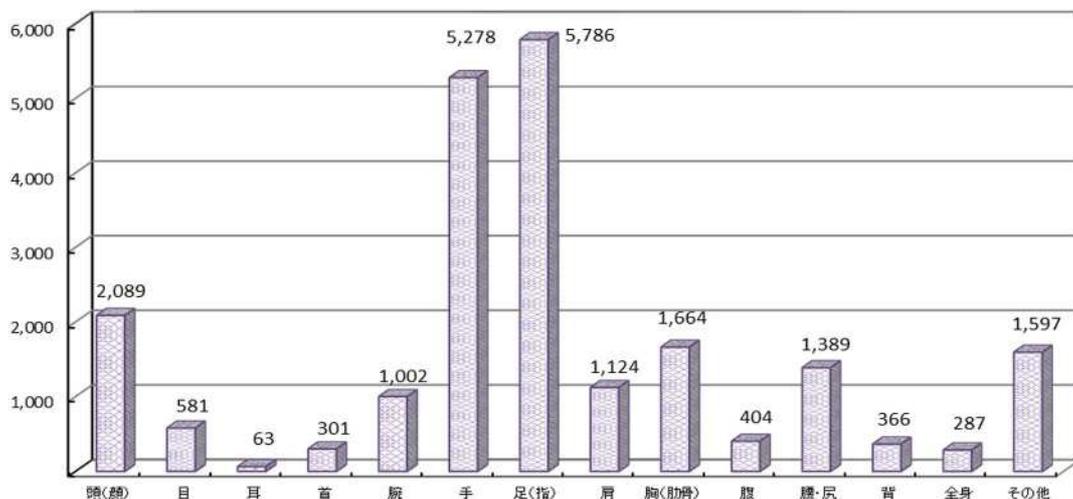
過去 10 年間のトータルでは、第 12 表のとおり足（指含む）5,786 件 (26.4%)、手（指含む）が 5,278 件 (24.0%) で全体の 50.4% を占めている。

令和 4 年度の負傷事故 2,136 件のうち、第 13 表のとおり足（指含む）が 550 件、(25.7%)、手（指含む）が 498 件 (23.3%) で全体の 49.0% を占めている。

第 12 表 負傷の部位別事故発生状況

年度 部位	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
頭(顔)	225	224	191	184	207	183	219	225	201	230	2,089	9.5
目	73	59	55	67	56	58	59	48	56	50	581	2.6
耳	9	5	8	6	6	6	6	7	5	5	63	0.3
首	51	23	30	23	33	25	32	26	33	25	301	1.4
腕	118	88	88	114	90	113	91	93	98	109	1,002	4.6
手	218	248	249	289	240	227	270	249	264	235	2,489	11.3
指(手)	311	298	265	277	272	281	283	242	297	263	2,789	12.7
足	597	541	532	522	477	491	528	448	451	485	5,072	23.1
指(足)	76	63	59	66	71	84	79	79	72	65	714	3.3
肩	128	101	130	113	105	109	121	105	103	109	1,124	5.1
胸(肋骨)	194	159	170	135	177	162	167	175	171	154	1,664	7.6
腹	42	40	53	42	43	38	33	33	33	47	404	1.8
腰	148	140	133	118	129	109	123	119	110	104	1,233	5.6
背	49	39	33	32	38	40	32	32	36	35	366	1.7
尻	23	18	12	18	18	10	17	13	10	17	156	0.7
全身	19	28	32	37	20	21	38	31	28	33	287	1.3
その他・不明	115	147	123	152	170	191	180	172	177	170	1,597	7.3
計	2,396	2,221	2,163	2,195	2,152	2,148	2,278	2,097	2,145	2,136	21,931	100.0

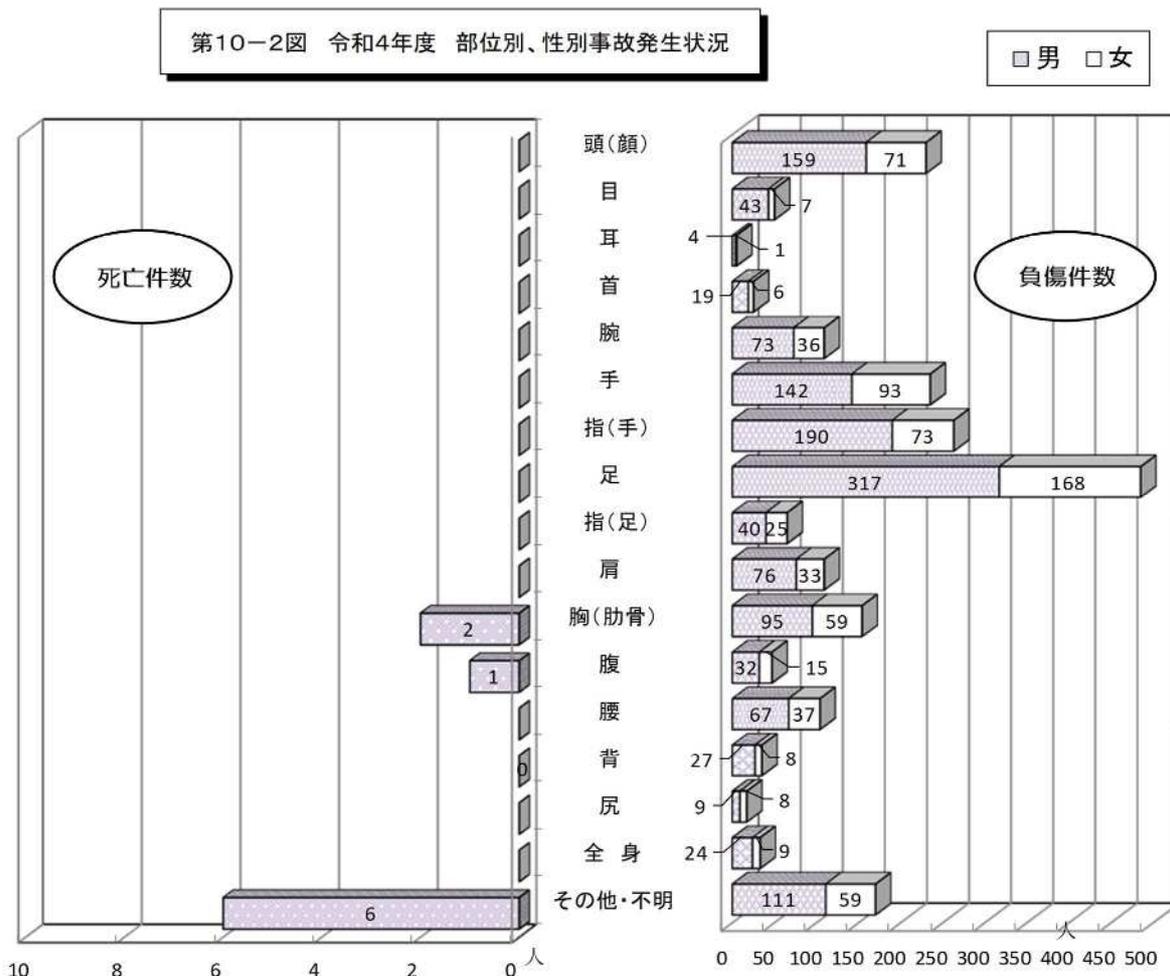
第 10-1 図 負傷の部位別事故発生状況
(平成 25 年度～令和 4 年度=10 年間)



第13表 令和4年度 部位別、性別事故発生状況

区分 部位	死 亡				負 傷			
	男	女	計	%	男	女	計	%
頭(顔)					159	71	230	10.8
目					43	7	50	2.3
耳					4	1	5	0.2
首					19	6	25	1.2
腕					73	36	109	5.1
手					142	93	235	11.0
指(手)					190	73	263	12.3
足					317	168	485	22.7
指(足)					40	25	65	3.0
肩					76	33	109	5.1
胸(肋骨)	2		2	22.2	95	59	154	7.2
腹	1		1	11.1	32	15	47	2.2
腰					67	37	104	4.9
背					27	8	35	1.6
尻					9	8	17	0.8
全身					24	9	33	1.5
その他・不明	6		6	66.7	111	59	170	8.0
計	9		9	100.0	1,428	708	2,136	100.0

第10-2図 令和4年度 部位別、性別事故発生状況



9 負傷の内容

打撲、骨折、切傷、捻挫、裂傷の順

第 14、15 表に示している負傷事故の内容は、単独の負傷内容よりも「打撲と捻挫」といった複数の診断の付いたものが多い。

このような状況から、負傷事故は、その受傷の主な原因になったと思われる診断名を負傷内容として表示している。

過去 10 年間のトータルでは、第 14 表のとおり打撲 (31.0%)、骨折 (22.6%)、切傷 (7.7%)、捻挫 (5.9%)、裂傷 (5.7%)、挫傷 (5.1%) となっており、この 6 つの内容で全体の 78.0% を占めている。

令和 4 年度では、第 15 表のとおり打撲 (30.4%)、骨折 (22.3%)、切傷 (7.4%)、裂傷 (6.5%)、捻挫 (5.6%)、挫傷 (4.7%)、の順となっている。

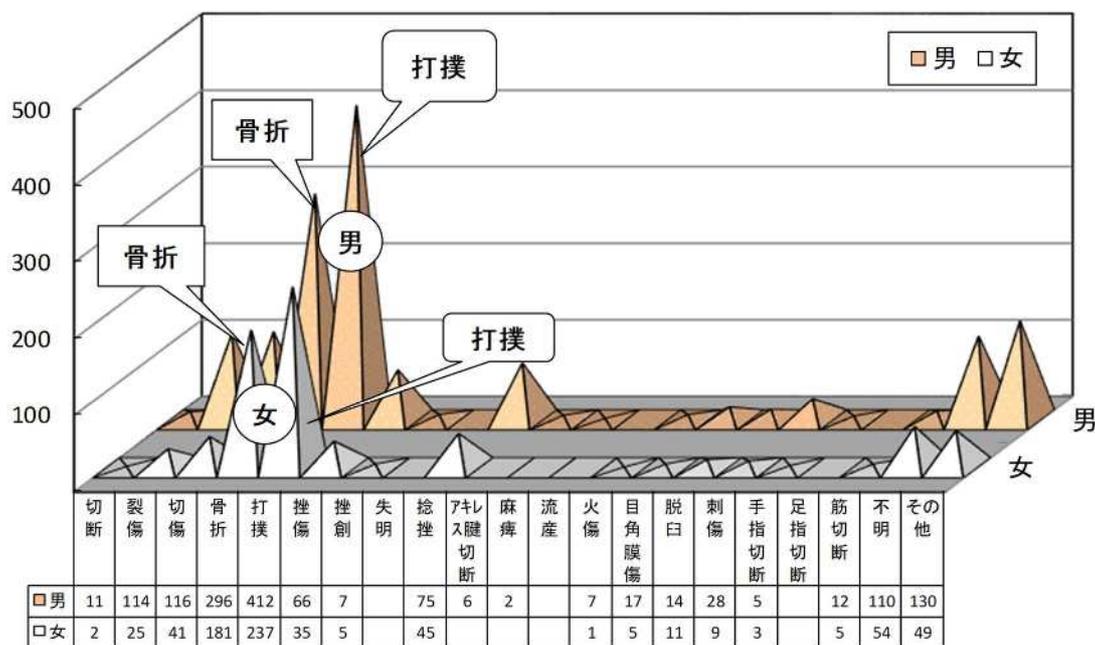
第 14 表 負傷事故の内容別発生状況

内容	年度	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	計	%
切 断		18	12	6	10	9	7	12	8	6	13	101	0.5
裂 傷		111	108	122	121	119	123	142	134	130	139	1,249	5.7
切 傷		204	197	173	175	163	153	163	150	164	157	1,699	7.7
骨 折		563	492	437	487	496	531	517	445	502	477	4,947	22.6
打 撲		673	689	717	701	686	613	715	680	680	649	6,803	31.0
挫 傷		114	96	117	129	132	120	124	95	98	101	1,126	5.1
挫 創		82	53	32	63	19	28	14	24	15	12	342	1.6
失 明		1					1	1	1			4	0.0
捻 挫		163	137	126	121	110	108	130	139	131	120	1,285	5.9
アキレス腱切断		14	10	6	6	11	11	6	6	10	6	86	0.4
麻 痺		2	1	6	1	2	8	1	1	2	2	26	0.1
流 産													
火 傷		12	11	12	8	15	9	11	4	7	8	97	0.4
目 角 膜 傷		40	29	17	16	23	22	29	13	17	22	228	1.0
脱 臼		18	11	18	21	13	18	29	17	17	25	187	0.9
刺 傷		54	18	34	42	28	25	29	29	28	37	324	1.5
手 指 切 断		21	10	11	27	9	14	13	9	15	8	137	0.6
足 指 切 断		3	1	2	1			1				8	0.0
筋 切 断		26	14	19	14	22	12	23	18	18	17	183	0.8
不 明		142	143	159	129	142	197	139	126	103	164	1,444	6.6
そ の 他		135	189	149	123	153	148	179	198	202	179	1,655	7.5
計		2,396	2,221	2,163	2,195	2,152	2,148	2,278	2,097	2,145	2,136	21,931	100.0

第15表 令和4年度 負傷内容別、性別事故発生状況

内容	性別	男		女		計	
		件数	%	件数	%	件数	%
切断		11	0.8	2	0.3	13	0.6
裂傷		114	8.0	25	3.5	139	6.5
切傷		116	8.1	41	5.8	157	7.4
骨折		296	20.7	181	25.6	477	22.3
打撲		412	28.9	237	33.5	649	30.4
挫傷		66	4.6	35	4.9	101	4.7
挫創		7	0.5	5	0.7	12	0.6
失明							
捻挫		75	5.3	45	6.4	120	5.6
アキレス腱切断		6	0.4			6	0.3
麻痺		2	0.1			2	0.1
流産							
火傷		7	0.5	1	0.1	8	0.4
眼角膜傷		17	1.2	5	0.7	22	1.0
脱臼		14	1.0	11	1.6	25	1.2
刺傷		28	2.0	9	1.3	37	1.7
手指切断		5	0.4	3	0.4	8	0.4
足指切断							
筋切断		12	0.8	5	0.7	17	0.8
不明		110	7.7	54	7.6	164	7.7
その他		130	9.1	49	6.9	179	8.4
計		1,428	100.0	708	100.0	2,136	100.0

第11図 令和4年度 負傷の内容別事故発生状況



10 負傷の程度

入院 26%、通院 74%

過去 10 年間の事故者の入院、通院の状況は第 16 表のとおりである。

この調査では負傷の程度まで知ることができないため、入院か通院かでその程度を察知している。

ただし、入院が重く通院が軽いとは断定出来ないため、一応の傾向として捉えている。

過去 10 年間の入院と通院の割合では 26 : 74 となっている。

令和 4 年度の割合は 21 : 79 となっている。

第 16 表 事故者の入院・通院

区分 年度	入院 人	通院 人	不明 人	計 人	合 計	
					入院 %	通院 %
25	622	1,774	-	2,396	26	74
26	548	1,673	-	2,221	25	75
27	578	1,585	-	2,163	27	73
28	545	1,650	-	2,195	25	75
29	568	1,584	-	2,152	26	74
30	654	1,494	-	2,148	30	70
1	657	1,621	-	2,278	29	71
2	488	1,609	-	2,097	23	77
3	525	1,620	-	2,145	24	76
4	454	1,682	-	2,136	21	79
計	5,639	16,292	-	21,931	26	74

11 トラクター事故の原因別状況

死亡が転倒・転落、負傷は乗降時の落下と作業機の整備・着脱時

(1) 死亡は、転倒・転落

トラクターによる死亡事故は、第 17 表のとおり過去 10 年間のトータルで 45 件となっている。そのうち原因では転倒・転落によるものが 24 件で全体の 53.3%を占めている。

なお、令和 4 年度のトラクターによる死亡事故は発生していない。

(2) 負傷は、トラクター乗降時の落下と作業機の整備・着脱時

トラクターによる負傷事故は、第 17 表のとおり過去 10 年間のトータルで 1,276 件となっている。そのうち原因では、乗降時等のトラクターからの落下が 333 件 (26.1%) で、次いで作業機の整備・着脱時等に物を落とす/物に挟むが 291 件 (22.8%) となっている。

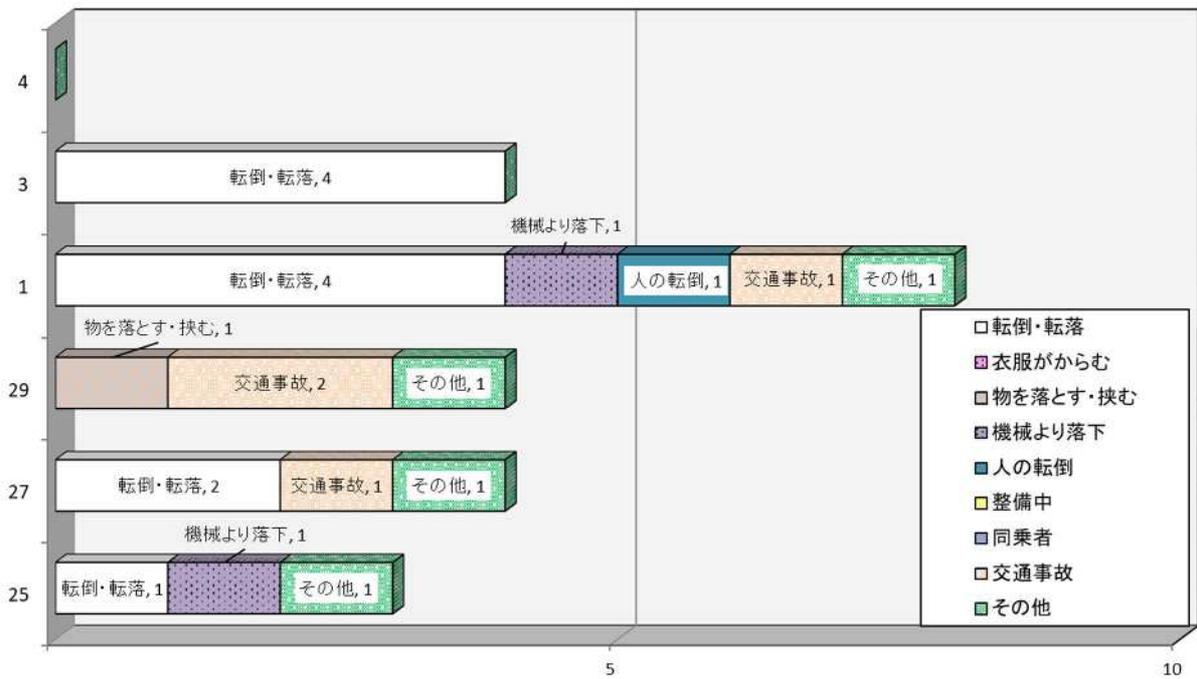
令和 4 年度ではトラクターによる負傷事故 97 件のうち、乗降時等のトラクターからの落下が 27 件 (27.8%)、作業機の整備・着脱時等に物を落とす/物に挟むが 21 件 (21.6%) となっている。

第 17 表 トラクター事故の原因別事故発生状況

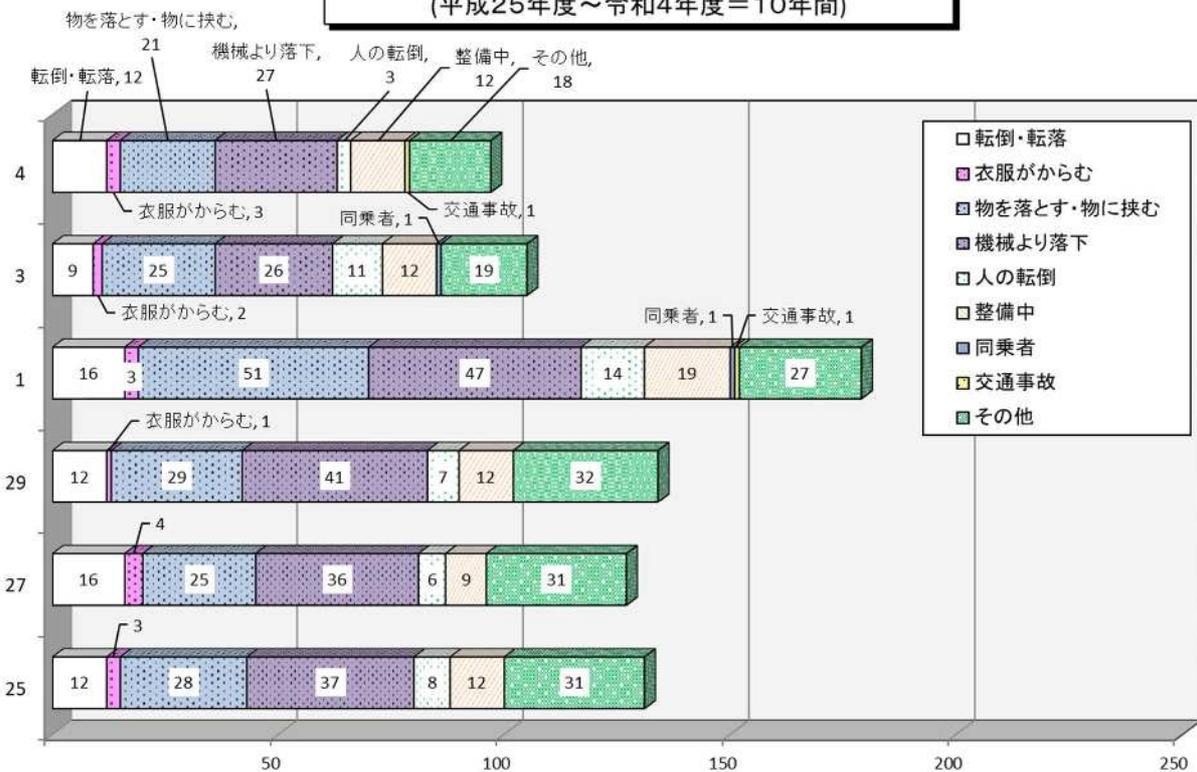
原因項目		25			26			27			28			29			30		
		死亡	負傷	計	死亡	負傷	計												
転倒・転落	田	1	1	2		1	1		2	2	1	1	2		1	1		1	1
	畑		3	3	2	10	12		9	9		2	2		4	4	1	7	8
	牧草地		2	2					1	1	1	3	4		3	3		1	1
	道路(含農道)		6	6	1	10	11	2	4	6	2	8	10		4	4	2	4	6
衣服がむ	P T O 部		1	1		1	1		1	1								1	1
	作業装置		1	1		1	1		2	2									
	その他		1	1		1	1		1	1				1	1				
物を落とす	整備・着脱時		21	21	1	20	21		16	16		15	15		22	22		16	16
	動力伝達部		2	2					1	1								1	1
	その他		5	5		9	9		8	8	1	3	4	1	7	8	2	4	6
機械落下	乗降時		31	31		34	34		34	34		21	21		34	34		20	20
	作業時乗降 作業中	1	6	7		4	4		2	2		3	3		7	7		8	8
人の転倒	作業中		6	6		3	3		4	4		6	6		7	7		5	5
	整備中		2	2					2	2		2	2					5	5
整備中	油圧関係		3	3		1	1		3	3		2	2		2	2		3	3
	機械関係		8	8		7	7		4	4		7	7		7	7		3	3
	工具関係		1	1		3	3		2	2		4	4		3	3		1	1
同乗者					2	2													
交通事故							1		1	1	5	6	2		2				
その他	作業機独自		1	1							1	7	8		1	1		1	1
	その他	1	30	31		42	42	1	31	32		24	24	1	31	32		18	18
計		3	131	134	4	149	153	4	127	131	7	113	120	4	134	138	5	99	104

原因項目		1			2			3			4			計		
		死亡	負傷	計	死亡	負傷	計	死亡	負傷	計	死亡	負傷	計	死亡	負傷	計
転倒・転落	田	0	0									2	2	2	9	11
	畑	2	7	9	1	4	5		3	3		5	5	6	54	60
	牧草地		2	2		2	2	1	2	3		1	1	2	17	19
	道路(含農道)		2	7	9	2	5	7	3	4	7		4	4	14	56
衣服がむ	P T O 部		2	2					1	1		2	2		9	9
	作業装置					1	1								5	5
	その他		1	1					1	1		1	1		7	7
物を落とす	整備・着脱時		38	38		39	39		20	20		13	13	1	220	221
	動力伝達部		1	1		1	1								6	6
	その他		12	12		4	4		5	5		8	8	4	65	69
機械落下	乗降時		40	40		22	22		23	23		18	18		277	277
	作業時乗降 作業中	1	7	8		7	7		3	3		9	9	2	56	58
人の転倒	作業中	1	11	12		6	6		6	6		1	1	1	55	56
	整備中		3	3					5	5		2	2		21	21
整備中	油圧関係		7	7		1	1		5	5		2	2		29	29
	機械関係		11	11		12	12		7	7		8	8		74	74
	工具関係		1	1		1	1					2	2		18	18
同乗者		1	1	1		1			1	1				1	4	5
交通事故		1	1	2	1	2	3					1	1	6	9	15
その他	作業機独自		3	3		1	1							1	14	15
	その他	1	24	25	1	34	35		19	19		18	18	5	271	276
計		8	179	187	6	142	148	4	105	109		97	97	45	1,276	1,321

第12図 トラクター事故の原因別事故発生状況(死亡)
(平成25年度～令和4年度=10年間)



第13図 トラクター事故の原因別事故発生状況(負傷)
(平成25年度～令和4年度=10年間)



12 農業就業人口（2020年農林業センサス）からみた農作業事故

1,000人当たり26.6人

農林水産省「2020年農林業センサス」による道内の農業就業人口は80,552人で、その5年前の平成27年センサスの96,557人より16,005人減少している。

令和4年度の農業就業人口1,000人当たりの農作業事故者数は、第18表のとおり26.6人となっており、地区別では、釧路、根室、宗谷、日高が高くなっている。

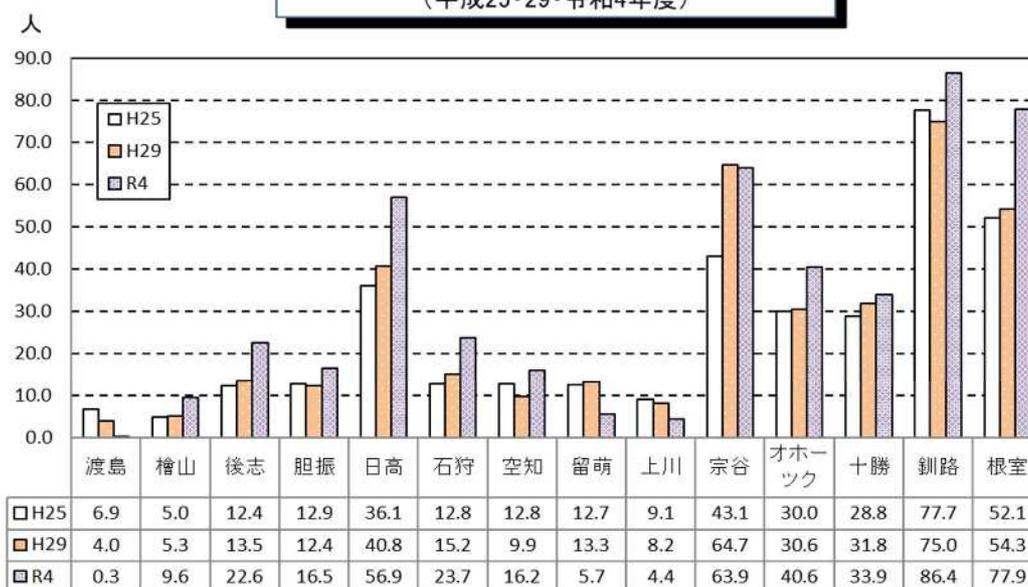
直近の10年間を見ても第14図のとおり釧路、根室、宗谷、日高の事故率が高い傾向にある。

第18表 農業就業者1,000人あたり事故件数（令和4年度）

区分 地区	就業者数			事故件数			就業者1,000人あたり		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
渡島	1,904	1,612	3,516	1		1	0.5	0.0	0.3
檜山	1,252	1,035	2,287	13	9	22	10.4	8.7	9.6
後志	2,765	2,271	5,036	82	32	114	29.7	14.1	22.6
胆振	1,889	1,572	3,461	39	18	57	20.6	11.5	16.5
日高	1,461	1,209	2,670	114	38	152	78.0	31.4	56.9
石狩	2,688	2,255	4,943	78	39	117	29.0	17.3	23.7
空知	7,590	6,168	13,758	173	50	223	22.8	8.1	16.2
留萌	893	699	1,592	7	2	9	7.8	2.9	5.7
上川	7,204	5,887	13,091	36	22	58	5.0	3.7	4.4
宗谷	903	630	1,533	60	38	98	66.4	60.3	63.9
オホーツク	5,393	4,393	9,786	269	128	397	49.9	29.1	40.6
十勝	7,404	6,108	13,512	304	154	458	41.1	25.2	33.9
釧路	1,363	1,101	2,464	133	80	213	97.6	72.7	86.4
根室	1,612	1,291	2,903	128	98	226	79.4	75.9	77.9
計	44,321	36,231	80,552	1,437	708	2,145	32.4	19.5	26.6

※就業者数は、北海道「2020農林業センサス」より。

第14図 農業就業者1,000人あたり事故件数の推移
（平成25・29・令和4年度）



第19表 農業就業者1,000人あたり事故件数の推移

地区	年度 区分	25			26			27			28			29		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
渡島		9.2	4.4	6.9	5.9	4.9	5.4	5.3	1.6	3.5	6.2	1.0	3.7	3.8	4.1	4.0
桧山		9.7	0.0	5.0	6.9	0.7	3.9	8.3	0.9	4.9	6.8	0.9	4.1	5.3	5.3	5.3
後志		15.5	8.8	12.4	13.2	7.9	10.7	17.1	11.3	14.4	16.4	5.0	11.1	17.4	8.9	13.5
胆振		20.0	5.3	12.9	20.0	6.7	13.6	15.7	6.5	11.4	21.0	9.0	15.4	14.0	10.6	12.4
日高		56.5	13.2	36.1	62.0	11.3	38.1	50.8	14.5	34.1	48.7	13.2	32.4	58.4	20.1	40.8
石狩		17.2	7.8	12.8	15.8	11.0	13.5	18.9	14.4	16.8	21.9	10.4	16.6	19.6	10.0	15.2
空知		18.1	6.9	12.8	13.1	4.7	9.2	14.5	5.4	10.4	12.8	6.3	9.9	15.1	4.2	9.9
留萌		17.3	7.5	12.7	12.3	9.4	11.0	23.4	2.4	13.9	17.4	14.1	15.9	19.3	5.9	13.3
上川		12.3	5.6	9.1	9.9	3.8	7.0	8.4	5.7	7.1	10.5	4.7	7.8	12.2	3.7	8.2
宗谷		53.2	30.1	43.1	74.2	59.2	67.6	58.2	74.2	64.9	70.6	56.5	64.7	75.4	49.8	64.7
オホーツク		36.9	21.8	30.0	35.7	20.9	28.9	36.3	24.5	31.0	40.1	24.7	33.2	40.4	18.7	30.6
十勝		35.0	21.5	28.8	33.9	19.8	27.5	39.5	23.8	32.4	38.8	23.7	32.0	39.8	22.0	31.8
釧路		88.0	65.3	77.7	69.6	58.3	64.5	84.1	63.8	75.0	80.2	57.7	70.1	86.8	60.6	75.0
根室		57.0	46.1	52.1	47.7	46.6	47.2	65.7	68.7	67.1	64.7	74.1	68.9	52.1	57.0	54.3
全道		27.8	14.7	21.7	25.4	14.1	20.1	27.4	17.4	22.8	28.0	16.7	22.9	28.6	15.1	22.4

地区	年度 区分	30			1			2			3			4		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
渡島		7.6	2.1	5.0	3.3	3.1	3.2	1.6	3.7	2.6	1.6	3.7	2.6	0.5	0.0	0.3
桧山		2.3	0.9	1.6	5.3	4.4	4.9	8.0	1.9	5.2	8.0	1.9	5.2	10.4	8.7	9.6
後志		22.0	10.9	16.9	18.0	11.2	14.9	19.5	13.7	16.9	19.5	13.7	16.9	29.7	14.1	22.6
胆振		18.2	8.5	13.7	28.0	12.2	20.6	23.8	15.3	19.9	23.8	15.3	19.9	20.6	11.5	16.5
日高		64.2	19.5	43.7	64.7	23.5	45.8	80.1	35.6	59.9	80.1	35.6	59.9	78.0	31.4	56.9
石狩		17.3	14.7	16.1	20.0	12.3	16.5	18.2	15.5	17.0	18.2	15.5	17.0	29.0	17.3	23.7
空知		16.2	6.5	11.8	15.4	5.7	11.0	20.6	7.3	14.6	20.6	7.3	14.6	22.8	8.1	16.2
留萌		22.2	8.2	15.9	13.5	4.7	9.6	10.1	4.3	7.5	10.1	4.3	7.5	7.8	2.9	5.7
上川		9.7	4.5	7.3	10.5	2.5	6.8	9.7	6.6	8.3	9.7	6.6	8.3	5.0	3.7	4.4
宗谷		61.9	55.2	59.1	78.3	57.9	69.8	73.1	55.6	65.9	73.1	55.6	65.9	66.4	60.3	63.9
オホーツク		36.7	23.7	30.9	35.9	19.6	28.5	44.1	24.8	35.5	44.1	24.8	35.5	49.9	29.1	40.6
十勝		35.9	21.7	29.5	43.4	25.4	35.2	49.2	28.2	39.7	49.2	28.2	39.7	41.1	25.2	33.9
釧路		84.4	48.2	68.1	85.0	58.4	73.1	80.0	53.6	68.2	80.0	53.6	68.2	97.6	72.7	86.4
根室		55.8	59.4	57.4	68.9	65.3	67.3	80.0	70.5	75.8	80.0	70.5	75.8	79.4	75.9	77.9
全道		27.7	16.1	22.4	29.8	16.6	23.8	29.8	16.6	23.8	32.0	19.2	26.2	32.4	19.5	26.6